

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 私立大学リハビリテーション分野における志願者・入学者動向（日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願者動向（平成27（2015）年度～平成31（2019）年度）」をもとに作成）
- 資料 2 北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査（高校生アンケート）報告書
- 資料 3 リーフレット（高校生・事業所共通）
- 資料 4 近隣県における競合大学同系学部学科の入学定員、入学志願者数、入学者数等の状況（2019（令和元）年度～2021（令和3）年度）
- 資料 5 近隣県における競合大学同系学部学科学生納付金一覧
- 資料 6 日本の将来推計人口（平成29年推計（国立社会保障・人口問題研究所）より作図）
- 資料 7 要介護要支援の占める割合（一般財団法人生命保険文化センターHP、総務省「人口推計月報」より作図）
- 資料 8 医療従事者の需給に関する検討会 第3回 理学療法士・作業療法士需給分科会資料1 理学療法士・作業療法士の需給推計について【抜粋】
- 資料 9 北陸三県における理学療法士学校養成施設と修学年限、定員
- 資料 10 石川県医療計画（平成30年4月）【抜粋】
- 資料 11 石川県長寿社会プラン2021（2021（令和3）年3月）【抜粋】
- 資料 12 金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想（平成26年3月）【抜粋】
- 資料 13 生きがいプラン（野々市市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画）（2021（令和3）年1月）【抜粋】
- 資料 14 七尾市あったかプラン（七尾市老人福祉計画・第8期七尾市介護保険事業計画）（令和3年3月）（抜粋）・第2次輪島市地域福祉計画（平成29年3月）【抜粋】
- 資料 15 富山県医療計画（概要版）（2018（平成30）年3月）
- 資料 16 福井県高齢者福祉計画・福井県介護保険事業支援計画（令和3年3月）【抜粋】
- 資料 17 北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査（施設アンケート）報告書

私立大学リハビリテーション分野における志願者・入学者動向

	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
学 部 数	10	10	10	11	12	12
入 学 定 員	905	915	915	1,165	1,395	1,395
志 願 者 数	4,165	4,239	3,812	4,876	6,665	6,943
入 学 者	926	971	889	1,214	1,410	1,374
志 願 倍 率	4.60	4.63	4.17	4.19	4.78	4.98
入学定員充足率	102.3%	106.1%	97.2%	104.2%	101.1%	98.5%

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向(平成27(2015)年度～平成31(2019)年度)」をもとに作成

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」
設置に関するアンケート調査（高校生アンケート）

報 告 書

令和4年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

1 アンケート調査概要	1
2 アンケート集計結果	5
3 北陸大学医療保健学部理学療法学科の進学希望者について	14
アンケート調査票	19

1 アンケート調査概要

(1) アンケート調査の目的

北陸大学では、令和 5 年（2023 年）4 月の開設に向けて「医療保健学部理学療法学科（仮称）」の設置の準備を進めており、新学科への興味・関心や進学意向等を把握するために、高校生を対象にアンケート調査を実施した。

(2) 実施アンケート

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査

(3) 調査対象

石川県、富山県、福井県、新潟県及び岐阜県に所在する高等学校を選定し、各高等学校の第 2 学年に在籍する生徒（高校 2 年生）を対象にアンケート調査を実施した。

(4) 調査実施

令和 3 年 10 月～12 月に調査を実施した。

(5) 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布を大学が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

(6) 回収状況

回収校数 96 校 回収票数 9,780 票（回収表は P. 2～P. 4 参照）

回収率 79.3%（回収校数 96 校÷依頼校数 121 校×100）

県 code	県	回収校数	回収票数
1	石川県	43 校	5,094 票
2	富山県	31 校	2,800 票
3	福井県	15 校	981 票
4	新潟県	3 校	462 票
5	岐阜県	4 校	443 票
計		96 校	9,780 票

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査 回収表

回収日	県 code	県	高校 code	高校名	ナンバリング		回収数
11.08	1	石川県	1		7706	7787	82
11.11	1	石川県	2		7894	8023	130
10.13	1	石川県	3		330	341	12
11.15	1	石川県	4		8024	8167	144
10.22	1	石川県	5		3333	3404	72
11.02	1	石川県	6		6649	6764	116
10.29	1	石川県	7		5716	5738	23
12.21	1	石川県	8		9596	9695	100
12.03	1	石川県	9		9461	9485	25
10.21	1	石川県	10		2733	2768	36
10.18	1	石川県	11		1026	1065	40
10.19	1	石川県	12		2043	2124	82
10.19	1	石川県	13		2125	2306	182
10.18	1	石川県	14		1066	1252	187
11.01	1	石川県	15		6036	6142	107
10.22	1	石川県	16		3405	3661	257
10.25	1	石川県	17		4073	4178	106
10.27	1	石川県	18		4792	5031	240
10.25	1	石川県	19		4179	4248	70
10.28	1	石川県	20		5429	5486	58
11.02	1	石川県	21		6765	6856	92
	1	石川県	22				
11.05	1	石川県	23		7229	7374	146
11.25	1	石川県	24		8609	8716	108
10.29	1	石川県	25		5739	5910	172
	1	石川県	26				
10.26	1	石川県	27		4541	4565	25
10.18	1	石川県	28		1253	1266	14
11.22	1	石川県	29		8345	8418	74
11.05	1	石川県	30		7375	7472	98
10.27	1	石川県	31		5032	5258	227
10.25	1	石川県	32		4249	4385	137
10.28	1	石川県	33		5487	5518	32
11.01	1	石川県	34		6143	6216	74
11.01	1	石川県	35		6217	6282	66
	1	石川県	36				
10.19	1	石川県	37		2307	2342	36
10.14	1	石川県	38		495	556	62
10.07	1	石川県	39		1	309	309
11.01	1	石川県	40		6283	6621	339
10.20	1	石川県	41		2769	3062	294
10.18	1	石川県	42		1267	1405	139
10.28	1	石川県	43		5519	5715	197
10.25	1	石川県	44		4386	4407	22
10.18	1	石川県	45		1406	1604	199

回収日	県 code	県	高校 code	高校名	ナンバリング		回収数
10. 15	1	石川県	46		708	870	163
	1	石川県	47				
11. 17	2	富山県	48		8223	8344	122
10. 26	2	富山県	49		4566	4601	36
10. 15	2	富山県	50		871	945	75
10. 29	2	富山県	51		5911	6035	125
12. 06	2	富山県	52		9486	9595	110
	2	富山県	53				
10. 18	2	富山県	54		1605	1753	149
	2	富山県	55				
10. 22	2	富山県	56		3662	3733	72
10. 15	2	富山県	57		946	1025	80
10. 14	2	富山県	58		557	596	40
	2	富山県	59				
10. 19	2	富山県	60		2343	2378	36
10. 25	2	富山県	61		4408	4474	67
11. 02	2	富山県	62		6857	6892	36
	2	富山県	63				
11. 26	2	富山県	64		8927	8965	39
11. 29	2	富山県	65		8966	9068	103
10. 25	2	富山県	66		4475	4540	66
10. 20	2	富山県	67		3063	3180	118
11. 22	2	富山県	68		8419	8569	151
10. 13	2	富山県	69		342	455	114
11. 05	2	富山県	70		7473	7482	10
10. 14	2	富山県	71		597	670	74
11. 25	2	富山県	72		8717	8926	210
10. 19	2	富山県	73		2379	2486	108
10. 13	2	富山県	74		456	494	39
10. 19	2	富山県	75		2487	2624	138
10. 27	2	富山県	76		5259	5277	19
11. 29	2	富山県	77		9069	9355	287
10. 21	2	富山県	78		3181	3332	152
11. 05	2	富山県	79		7483	7582	100
11. 05	2	富山県	80		7583	7601	19
10. 12	2	富山県	81		310	329	20
12. 27	2	富山県	82		9696	9780	85
	3	福井県	83				
	3	福井県	84				
10. 27	3	福井県	85		5278	5388	111
11. 22	3	福井県	86		8570	8608	39
11. 04	3	福井県	87		7077	7150	74
	3	福井県	88				
	3	福井県	89				
10. 14	3	福井県	90		671	707	37
	3	福井県	91				

回収日	県 code	県	高校 code	高校名	ナンバリング		回収数
11. 08	3	福井県	92		7788	7823	36
	3	福井県	93				
11. 01	3	福井県	94		6622	6648	27
	3	福井県	95				
	3	福井県	96				
11. 29	3	福井県	97		9356	9460	105
10. 19	3	福井県	98		2625	2664	40
	3	福井県	99				
10. 26	3	福井県	100		4602	4791	190
11. 05	3	福井県	101		7602	7635	34
10. 27	3	福井県	102		5389	5428	40
	3	福井県	103				
11. 05	3	福井県	104		7636	7705	70
	3	福井県	105				
	3	福井県	106				
10. 18	3	福井県	107		1754	1783	30
11. 04	3	福井県	108		7151	7228	78
	4	新潟県	109				
	4	新潟県	110				
	4	新潟県	111				
	4	新潟県	112				
11. 15	4	新潟県	113		8168	8222	55
10. 19	4	新潟県	114		2665	2732	68
10. 22	4	新潟県	115		3734	4072	339
	4	新潟県	116				
10. 18	5	岐阜県	117		1784	1823	40
10. 18	5	岐阜県	118		1824	1841	18
10. 18	5	岐阜県	119		1842	2042	201
11. 02	5	岐阜県	120		6893	7076	184
11. 08	3	福井県	121		7824	7893	70
計 (96 校)					—	—	9780

2 アンケート集計結果

〔有効回答票：9,780 票〕

I. 回答者の属性について

① 性別（問1）

回答者の性別内訳は、「女性」が 50.2%（4,912 人）、「男性」が 49.1%（4,800 人）、「その他の性自認」が 0.7%（68 人）である。

	1 男 性	2 女 性	3 その他の性自認	合計
回答者数（人）	4,800	4,912	68	9,780
回答割合（%）	49.1	50.2	0.7	100.0

② 通学する高校の所在地（問2）

回答者が通う高校の所在地は、「石川県」が 51.8%（5,067 人）で最も多く半数を占めている。石川県以外では「富山県」28.8%（2,813 人）、「福井県」10.1%（985 人）、「新潟県」4.8%（468 人）、「岐阜県」4.6%（447 人）である。

	1 石川県	2 富山県	3 福井県	4 新潟県	5 岐阜県	合計
回答者数（人）	5,067	2,813	985	468	447	9,780
回答割合（%）	51.8	28.8	10.1	4.8	4.6	100.0

③ 所属コース（問3）

回答者の所属コース別内訳は、「文系クラス」が40.6%（3,968人）、「理系クラス」が38.9%（3,806人）であり、文系クラスと理系クラスがそれぞれ4割程度を占めている。

	1 文系クラス	2 理系クラス	3 コース選択 はない	4 その他	不明	合計
回答者数（人）	3,968	3,806	1,030	953	23	9,780
回答割合（%）	40.6	38.9	10.5	9.7	0.2	100.0

（「4 その他」の回答）

商業科	61件	国際系	6件	スポーツ健康科学	1件
商業	57件	機械科	5件	ビジネス系	1件
ビジネスコース	49件	芸術	5件	フロンティアコース	1件
工業科	39件	建築	5件	ライフサポート	1件
情報ビジネス	37件	機械システム科	4件	ライフ系クラス	1件
農業	36件	進学コース	4件	化学コース	1件
工業	31件	福祉コース	4件	機械	1件
総合学科	31件	工学	3件	金城大学	1件
スポーツ科学コース	26件	情報ビジネス科	3件	工業・電子情報	1件
スポーツ	25件	進学コース人文	3件	工業系	1件
総合情報ビジネス科	25件	専門コース	3件	就職クラス	1件
音楽コース	20件	電子機械コース	3件	商業（中国）	1件
芸術コース	18件	流通経済科	3件	商業科Bコース	1件
ビジネス	17件	アスリートクラス	2件	情報技術科	1件
生活文化科	17件	スポーツ学科	2件	進学	1件
農業科	17件	デザイン科	2件	生活科学系	1件
普通科	17件	工芸科	2件	電気科	1件
園芸	16件	自然科学コース	2件	電子情報学科	1件
流通情報	15件	総合コース	2件	美術	1件
グローバル	8件	土木	2件	普通科コース	1件
英語コース	8件	保育コース	2件	文系流通	1件
特別進学コース	8件	幼児教育コース	2件	食農	1件
カレッジコース	7件	商業情報ビジネス科	2件	電子機器クラス	1件
美術コース	7件	ビジネス情報	2件	情報	1件
家庭科	6件	グローバル（英語）	1件	地域創造科	1件

Ⅱ. 高校卒業後の進路、関心ある分野、進路決定に際して重視することについて

④ 高校卒業後の希望進路（問４）

高校卒業後の希望進路については、「大学」が 67.0%（6,555 人）で最も多く、回答者の 3 人に 2 人が大学進学を希望している。大学以外では、「専門学校・専修学校」が 13.9%（1,356 人）、「就職」が 13.6%（1,327 人）でありほぼ同数、「短期大学」は 4.2%（413 人）である。

	1 大学	2 短期大学	3 専門学校 ・専修学校	4 就職	5 その他	不明	合計
回答者数（人）	6,555	413	1,356	1,327	115	14	9,780
回答割合（%）	67.0	4.2	13.9	13.6	1.2	0.1	100.0

（「5 その他」の回答）

未定	12 件	まだ悩んでいる	1 件
決まっていない	4 件	まだ分らない	1 件
決めていない	3 件	まだ迷っている	1 件
留学	3 件	まよっている	1 件
考えていない	2 件	わからない	1 件
悩んでいる	2 件	海外	1 件
迷っている	2 件	経営	1 件
ニート	1 件	決めてない	1 件
はっきり決まっていない	1 件	就職したいけど分らない感じ	1 件
まだ決まってない	1 件	就職と専門学校	1 件
まだ決めていない	1 件	特にない	1 件
まだ考えていない	1 件	分らない	1 件
まだ考えています	1 件	無職	1 件
まだ考えてない	1 件	迷い中	1 件

※問5以降は、問4で「大学」、「短期大学」、「専門学校・専修学校」を選択した回答者の回答。

⑤ 興味・関心がある分野（問5）〔複数回答〕

高校卒業後の希望進路で大学、短期大学、専門学校・専修学校のいずれかを選択した回答者に対して、興味・関心がある分野について複数回答で尋ねたところ、「工学・理学」が25.1%（2,086人）で最も多く、次いで「経済学・経営学」20.0%（1,661人）、「保健・看護学」17.7%（1,472人）、「教育学」17.6%（1,463人）などが続いている。「理学療法学（リハビリテーション）」は14.4%（1,196人）である。

次に、高校卒業後の希望進路で大学と回答した回答者（以下、「大学進学希望者」という。）の回答結果をみると、「工学・理学」が29.3%（1,919人）で最も多く、次いで「経済学・経営学」21.9%（1,438人）、「教育学」17.8%（1,170人）などが続いている。「理学療法学（リハビリテーション）」は14.6%（959人）である。

		1 理学療法学 (リハビリテーション)	2 臨床検査学	3 臨床工学	4 薬学	5 医学・歯学	6 経済学・経営学	7 語学・国際関係学	8 法律・政治	9 心理学	10 教育学	11 社会学
全 体	(人)	1,196	490	285	909	792	1,661	883	578	1,320	1,463	771
	(%)	14.4	5.9	3.4	10.9	9.5	20.0	10.6	6.9	15.9	17.6	9.3
大学進学希望者	(人)	959	436	252	813	582	1,438	730	536	1,064	1,170	656
	(%)	14.6	6.7	3.8	12.4	8.9	21.9	11.1	8.2	16.2	17.8	10.0
		12 文化・文学	13 生命科学	14 体育・健康科学	15 情報科学	16 保健・看護学	17 工学・理学	18 農学・水産学	19 栄養学	20 その他	不明	合計
全 体	(人)	1,076	497	1,048	1,143	1,472	2,086	465	920	859	64	8,324
	(%)	12.9	6.0	12.6	13.7	17.7	25.1	5.6	11.1	10.3	0.8	100.0
大学進学希望者	(人)	855	433	879	971	1,079	1,919	372	585	338	35	6,555
	(%)	13.0	6.6	13.4	14.8	16.5	29.3	5.7	8.9	5.2	0.5	100.0

（注）上段は回答者数（人）、下段は回答割合（%）。「大学進学希望者」は、問4で「1 大学」を選択した回答者（6,555人）。

（「20 その他」の回答）

美容	88 件	フラワーデザイン	1 件	地学	1 件
芸術	62 件	ペット関係	1 件	調理・製菓	1 件
美術	43 件	ペット系	1 件	調理系	1 件
音楽	18 件	ほういがく	1 件	調理師	1 件
芸術学	15 件	ホテル	1 件	哲学	1 件
デザイン	14 件	ホテル・ブライダル	1 件	天文学	1 件
動物	14 件	マッサージ師	1 件	都市デザイン	1 件
保育	13 件	マネージャー	1 件	土木	1 件
ブライダル	12 件	マンガ	1 件	土木、建築学	1 件
製菓	12 件	リベラルアーツ	1 件	動物、ペット	1 件
理容・美容	12 件	衣服、美容	1 件	動物、理容、美容	1 件
調理	9 件	営業、ホテル、服	1 件	動物学	1 件
美容・理容	9 件	映像	1 件	動物系（ペット系）	1 件
服飾	9 件	映像、音響	1 件	特にない	1 件
理美容	9 件	映像音響学科	1 件	特にまだ決めていない	1 件
建築	7 件	映像学	1 件	美術、イラストレーション	1 件
美術、デザイン	7 件	映像関係	1 件	美術・芸術	1 件
美容系	7 件	演出など	1 件	美術学	1 件
調理、製菓	6 件	音楽・アニメーション	1 件	美術系	1 件
福祉	6 件	音楽・音響	1 件	美専	1 件
スポーツ	5 件	音楽学科	1 件	美容、スポーツ	1 件
観光	5 件	音楽関係	1 件	美容、ブライダル、デザイン	1 件

建築学	5 件	音楽系	1 件	美容、メイク	1 件
作業療法学	5 件	化粧	1 件	美容、動物、料理	1 件
獣医学	5 件	家政	1 件	美容・ブライダル・メイク	1 件
動物看護	5 件	家政・生活造形	1 件	美容・ヘアメイク	1 件
観光学	4 件	家政学科、住居学	1 件	美容・メイク	1 件
声優	4 件	海洋学部	1 件	美容学校	1 件
美容学	4 件	海洋士	1 件	物理学など	1 件
トリマー	3 件	学芸	1 件	文理融合	1 件
ペット	3 件	観光、ホテル、ブライダル	1 件	保育、看護	1 件
医療事務	3 件	救急救命	1 件	保育系	1 件
社会福祉	3 件	救命	1 件	放射線、消防	1 件
保育、幼児教育	3 件	金融	1 件	放射線技師	1 件
アニメーション	2 件	警察官	1 件	放射線技術	1 件
イラスト	2 件	芸術、デザイン	1 件	幼児・福祉	1 件
ゲームプログラミング	2 件	芸術、デザイン、映像	1 件	幼児教育	1 件
デザイン、美術	2 件	芸術、舞踏	1 件	理美容系	1 件
デザイン系	2 件	芸術・デザイン	1 件	理容・美容・トリマー	1 件
メイク	2 件	芸術・工芸	1 件	理容美容系	1 件
演劇	2 件	芸術系	1 件	旅行関係	1 件
介護	2 件	芸術工学	1 件	料理、アニメ	1 件
介護、福祉	2 件	芸能(声優)	1 件	倫理哲学	1 件
介護福祉	2 件	芸能、音響など	1 件	歴史	1 件
環境	2 件	芸能界	1 件	メディア、音楽	1 件
芸術、イラスト	2 件	芸能関係(テレビなどの裏方)	1 件	歴史学	1 件
芸能	2 件	決まっています	1 件	サービス	1 件
公務員	2 件	決まっています	1 件	美学	1 件
事務	2 件	建築、インテリア	1 件	プログラミング	1 件
自動車整備	2 件	建築、土木	1 件	美容、調理	1 件
住居学	2 件	建築デザイン	1 件	製菓、調理	1 件
商学	2 件	建築系	1 件	ホテル、観光、ブライダル	1 件
人間科学	2 件	言語聴覚士	1 件	ホテル、テーマパーク	1 件
動物系	2 件	工芸学	1 件	美容、理容	1 件
美術、芸術	2 件	行動学	1 件	まだ決まっています	1 件
美術・デザイン	2 件	国際	1 件	美容、ブライダル	1 件
美容師	2 件	今のところ特になし	1 件	ペット、声優、美術	1 件
美容理容専門学校	2 件	作業療法	1 件	小説、ゲーム	1 件
福祉学	2 件	作業療法科	1 件	芸術、イラスト、デザイン	1 件
放射線	2 件	司書	1 件	健康スポーツ	1 件
放送	2 件	史学	1 件	家政学	1 件
理容、美容	2 件	事務系	1 件	美容、芸術	1 件
ウェディング	2 件	自動車関係	1 件	IT 系	1 件
IT、映像	1 件	写真・映像	1 件	美容・理容系	1 件
アニマルサイエンス	1 件	柔道整復学	1 件	留学	1 件
イラスト、コンピュータ	1 件	獣医学、獣医看護学	1 件	芸術、美術	1 件
イラストレーター	1 件	獣医等	1 件	地理学	1 件
ウェディングプランナー	1 件	消防	1 件	芸術(音楽)	1 件
えいせい	1 件	消防士	1 件	音楽学	1 件
おんきょう	1 件	情報	1 件	芸術・音楽	1 件
キャビンアテンダント	1 件	情報工学	1 件	環境学	1 件
しんとうがつか	1 件	食	1 件	被服学、インテリア系	1 件
スポーツ心理	1 件	食・動物・登録販売者	1 件	宗教、哲学	1 件
ダンス	1 件	食学	1 件	映像系、イラスト系	1 件
ダンス、文化服装	1 件	食品科学	1 件	インテリア、建築	1 件
データサイエンス	1 件	人間総合学	1 件	芸術(声優)	1 件
デザイン、アニメーション	1 件	人文・仏教科	1 件	写真	1 件
デザイン、イラスト、美術	1 件	数学	1 件	美容科	1 件
デザイン、造形	1 件	整体師	1 件	デザイン、美術系	1 件
デザイン、美術、芸術	1 件	生活学	1 件	芸術、イラスト系	1 件
デザイン科	1 件	生物資源	1 件	ゲームプログラム	1 件
デザイン関係	1 件	声優、俳優	1 件	理容	1 件
ビジネス	1 件	製菓、動物	1 件	ゲーム	1 件
ファッション	1 件	製菓技術	1 件	ビジネス総合	1 件
ブライダル、ウェディング	1 件	製菓専門	1 件	獣医学、動物看護学	1 件
ブライダル、ホテル	1 件	船舶関係、機関士	1 件	まだ悩んでいる	1 件
ブライダル、理美容、ファッション	1 件	総合	1 件	救急救命士	1 件
ブライダルプランナー	1 件	地域創造	1 件	ペット看護	1 件

⑥ 進学先を決める際に重視すること（問6）〔複数回答〕

高校卒業後の希望進路で大学、短期大学、専門学校・専修学校のいずれかを選択した回答者に対して、進学先を決める際に重視することについて複数回答で尋ねたところ、「学部・学科の分野」が63.1%（5,252人）で最も多く、6割以上を占めている。次いで「取得可能資格・免許」38.5%（3,208人）、「教育内容」29.7%（2,476人）、「入試難易度・入試科目」26.5%（2,210人）などが続いている。

次に、大学進学希望者の回答結果をみると、「学部・学科の分野」が67.9%（4,451人）で最も多く、3分の2位以上を占めている。次いで「取得可能資格・免許」34.7%（2,275人）、「入試難易度・入試科目」28.8%（1,885人）、「教育内容」28.2%（1,850人）などが続いている。

		1 学部・学科 の分野	2 取得可能 資格・免許	3 教育内容	4 教員の 充実度	5 就職指導 及び就職 実績	6 入試難易 度・入試科 目	7 国立・公立 ・私立の別	8 学費等の コスト	9 校舎・施設 の充実度	10 寮の有無
全 体	(人)	5,252	3,208	2,476	340	1,154	2,210	1,825	2,026	1,123	121
	(%)	63.1	38.5	29.7	4.1	13.9	26.5	21.9	24.3	13.5	1.5
大学進学 希望者	(人)	4,451	2,275	1,850	250	869	1,885	1,760	1,526	858	83
	(%)	67.9	34.7	28.2	3.8	13.3	28.8	26.8	23.3	13.1	1.3
		11 所在地	12 学校の先 生の意見	13 家族の 意見	14 友人の 意見	15 大学生や 卒業生の 意見	16 伝統・世間 での評判	17 その他	不明	合計	
全 体	(人)	1,530	224	1,057	112	347	355	78	47	8,324	
	(%)	18.4	2.7	12.7	1.3	4.2	4.3	0.9	0.6	100.0	
大学進学 希望者	(人)	1,209	153	769	79	221	291	62	23	6,555	
	(%)	18.4	2.3	11.7	1.2	3.4	4.4	0.9	0.4	100.0	

（「17 その他」の回答）

部活	5件	国際性	1件	将来学びたいことがあるから	1件
部活動	5件	治安、人間関係	1件	進路	1件
留学制度	3件	自分のしたいこと	1件	先生の雰囲気	1件
スポーツ	2件	自分のなりたい職業にあっているか	1件	専門士資格、信頼	1件
サークル	1件	自分の意見	1件	卒業後進路	1件
サッカー強い	1件	自分の進路先を決定させれる	1件	特になし	1件
なんとなく	1件	自分の成績	1件	部活動の成績	1件
ハンドボール	1件	取り組む量(沢山がいい)	1件	偏差値	1件
ボート部があるか	1件	就職	1件	偏差値(高学歴かどうか)	1件
楽しさ	1件	就職先	1件	野球	1件
競技(スキー)でどこが自分に合っているか	1件	将来につながるかどうか	1件	友人といっしょにがんばれるか	1件
興味があったから	1件	将来のため	1件	陸上競技の活動実績	1件
決まってない	1件	将来のために	1件	留学プランが充実しているか	1件
研究内容、研究実績	1件	将来の夢に近づける	1件	留学制度有無	1件
国家資格、試験の合格率	1件				

Ⅲ. 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）について

⑦ 北陸大学の知名度（問 7）

北陸大学を「よく知っている」と回答したのは 3.9%（325 人）、「知っている」は 24.0%（1,995 人）であり、「聞いたことはある」が 42.6%（3,547 人）で最も多い。「知らない」は 27.3%（2,269 人）であり、「よく知っている」と「知っている」の合計とほぼ同数である。

次に、大学進学希望者についてみると、「よく知っている」は 4.2%（273 人）で全体より 0.3 ポイント高く、「知っている」は 24.9%（1,630 人）で全体より 0.9 ポイント高い。「知らない」は 25.9%（1,698 人）で全体よりも 1.4 ポイント低い。

		1 よく知っている	2 知っている	3 聞いたことはある	4 知らない	不明	合計
全 体	(人)	325	1,995	3,547	2,269	188	8,324
	(%)	3.9	24.0	42.6	27.3	2.3	100.0
大学進学 希望者	(人)	273	1,630	2,827	1,698	127	6,555
	(%)	4.2	24.9	43.1	25.9	1.9	100.0

⑧ 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）への興味・関心（問 8）

北陸大学医療保健学部理学療法学科への興味・関心については、「とても興味・関心をもった」が 3.4%（281 人）、「ある程度興味・関心をもった」が 15.9%（1,324 人）、「少し興味・関心をもった」が 38.7%（3,222 人）であり、これらを合計すると、58.0%（4,827 人）が医療保健学部理学療法学科に興味・関心をもっていると言える。

次に、大学進学希望者についてみると、「とても興味・関心をもった」は 3.6%（235 人）、「ある程度興味・関心をもった」が 16.4%（1,078 人）、「少し興味・関心をもった」が 38.9%（2,553 人）であり、合計すると、58.9%（3,866 人）が医療保健学部理学療法学科に興味・関心をもっている。回答者全体に比べて若干高い割合となっている。

		1 とても興味・ 関心をもった	2 ある程度興味・ 関心をもった	3 少し興味・ 関心をもった	4 興味・関心を もたなかった	不明	合計
全 体	(人)	281	1,324	3,222	3,305	192	8,324
	(%)	3.4	15.9	38.7	39.7	2.3	100.0
大学進学 希望者	(人)	235	1,078	2,553	2,558	131	6,555
	(%)	3.6	16.4	38.9	39.0	2.0	100.0

⑨ 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）への進学意向（問9）

北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向について、「ぜひ進学したいと思う」と回答したのは1.1%（95人）、「進学先の1つとして検討すると思う」は12.2%（1,014人）である。

次に、大学進学希望者についてみると、「ぜひ進学したいと思う」は1.3%（84人）、「進学先の1つとして検討すると思う」は12.7%（835人）人であり、回答者全体よりも若干高い割合を示している。

		1 ぜひ進学したいと思う	2 進学先の1つとして検討すると思う	3 あまり進学したいと思わない	4 進学したいと思わない	不明	合計
全 体	(人)	95	1,014	2,997	3,996	222	8,324
	(%)	1.1	12.2	36.0	48.0	2.7	100.0
大学進学希望者	(人)	84	835	2,429	3,051	156	6,555
	(%)	1.3	12.7	37.1	46.5	2.4	100.0

※問 10 は、問 9 で「ぜひ進学したいと思う」もしくは「進学先の 1 つとして検討すると思う」を選択した回答者の回答。

⑩ 回答理由（問 10）〔複数回答〕

北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学について、「ぜひ進学したいと思う」もしくは「進学先の 1 つとして検討すると思う」と回答した回答者に対して、その回答理由を複数回答で尋ねたところ、「希望の資格（理学療法士）取得」が 64.2%（712 人）で最も多く、次いで「立地（地元にある、自宅通学圏内）」が 49.7%（551 人）となっている。

大学進学希望者についてもほぼ同様であり、「希望の資格（理学療法士）取得」が 63.3%（582 人）、「立地（地元にある、自宅通学圏内）」が 50.6%（465 人）である。

		1 希望の資格 (理学療法士)取得	2 立地(地元にある、自宅通学圏内)	3 他校にはない特色	4 これまでの北陸大学の実績や評判	5 先輩が北陸大学に進学している	6 その他	不明	合計
全 体	(人)	712	551	274	184	62	23	24	1,109
	(%)	64.2	49.7	24.7	16.6	5.6	2.1	2.2	100.0
大学進学希望者	(人)	582	465	226	148	54	21	20	919
	(%)	63.3	50.6	24.6	16.1	5.9	2.3	2.2	100.0

また、医療保健学部理学療法学科に「ぜひ進学したいと思う」と回答した回答者の理由については、「希望の資格（理学療法士）取得」が回答者全体では 82.1%（78 人）、大学進学希望者では 83.3%（70 人）であり、8 割以上が資格取得を理由の一つに挙げている。

			1 希望の資格(理学療法士)取得	2 立地(地元にある、自宅通学圏内)	3 他校にはない特色	4 これまでの北陸大学の実績や評判	5 先輩が北陸大学に進学している	6 その他	不明	合計
全体	ぜひ進学したいと思う	(人)	78	48	18	10	7	0	2	95
		(%)	82.1	50.5	18.9	10.5	7.4	0.0	2.1	100.0
	進学先の 1 つとして検討すると思う	(人)	634	503	256	174	55	23	22	1,014
		(%)	62.5	49.6	25.2	17.2	5.4	2.3	2.2	100.0
大学進学希望者	ぜひ進学したいと思う	(人)	70	44	13	9	6	0	2	84
		(%)	83.3	52.4	15.5	10.7	7.1	0.0	2.4	100.0
	進学先の 1 つとして検討すると思う	(人)	512	421	213	139	48	21	18	835
		(%)	61.3	50.4	25.5	16.6	5.7	2.5	2.2	100.0

（「6 その他」の回答）

パンフレットで興味を持ったから	1 件	学部	1 件
まだ詳しい進路が決まっていないから。	1 件	興味があるから。	1 件
リハビリの仕事に携わりたいから。	1 件	先生に教えてもらったことがあるから	1 件
以前から理学療法士に興味があったから。	1 件	部活で練習試合をしているから	1 件
医学に興味があるから	1 件	北陸大学のどの学部に行こうか迷っているから	1 件
何に興味があるのか、まだ分かっていないから。	1 件	薬学部がある	1 件
ケガをしたときに理学療法士の方と出会って興味を持ったから。	1 件	国公立の理学療法学科が少ないから（富山県の近くからの）。	1 件
運動部なので体のことに携わる仕事も良いと思いました。	1 件		

3 北陸大学医療保健学部理学療法学科の進学希望者について

北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向については、「ぜひ進学したいと思う」と回答した回答者が 95 人であり、そのうち、高校卒業後の進路として「大学」と回答した回答者（大学進学希望者）が 84 人である。北陸大学医療保健学部理学療法学科の入学定員は 60 人であることから、「ぜひ進学したいと思う」と回答した回答者数は、大学進学希望者に絞っても入学定員を超えていることになる。

また、「進学先の 1 つとして検討すると思う」と回答した回答者については、大学受験の際、受験先の候補の一つに北陸大学医療保健学部理学療法学科を挙げる可能性が考えられる。潜在的な受験者層とも言えるが、「進学先の 1 つとして検討すると思う」と回答した回答者は 1,014 人、そのうち大学進学希望者は 835 人であることから、潜在的な受験者層は入学定員 60 人の十数倍はいると考えることもできる。

しかし、これらの回答者の中には、理学療法学以外の分野に興味や関心をもっていたり、北陸大学医療保健学部理学療法学科に興味や関心がない回答者も含まれている。このため、アンケート調査結果を踏まえ、条件を絞って北陸大学医療保健学部理学療法学科の進学希望者について検討を行う。

高校卒業後の進路（問 4）で「大学」と回答し、かつ興味・関心がある分野（問 5）で「理学療法学（リハビリテーション）」と回答した回答者は 959 人いたが、次の表は、この 959 人の北陸大学医療保健学部理学療法学科への興味・関心（問 8）の回答結果である。

大学進学を希望し理学療法学分野に興味・関心がある回答者（959 人）の北陸大学理学療法学科への興味・関心

	1 とても興味・ 関心をもった	2 ある程度興味・ 関心をもった	3 少し興味・ 関心をもった	4 興味・関心を もたなかった	不明	合計
回答者数(人)	158	312	334	131	24	959
回答割合(%)	16.5	32.5	34.8	13.7	2.5	100.0

804 人 83.8%

「とても興味・関心をもった」が 16.5%（158 人）、「ある程度興味・関心をもった」が 32.5%（312 人）、「少し興味・関心をもった」が 34.8%（334 人）である。これらを合計すると、大学進学を希望し、かつ理学療法学分野に関心がある回答者の 83.8%（804 人）が、北陸大学医療保健学部理学療法学科に興味・関心をもっていることがわかる。

この 804 人について、北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向（問 9）の回答結果をまとめたのが次の表である。

大学進学を希望し、理学療法学分野に興味・関心があり、北陸大学理学療法学科に興味・関心がある回答者（804人）の北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向

			北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向（問9）					
			1 ぜひ進学したいと思う	2 進学先の1つとして検討すると思う	3 あまり進学したいと思わない	4 進学したいと思わない	不明	合計
北陸大学医療保健学部理学療法学科への興味・関心（問8）	とても興味・関心をもった	（人）	43	103	8	4	0	158
		（％）	27.2	65.2	5.1	2.5	0.0	100.0
	ある程度興味・関心をもった	（人）	2	177	108	25	0	312
		（％）	0.6	56.7	34.6	8.0	0.0	100.0
	少し興味・関心をもった	（人）	1	88	188	55	2	334
		（％）	0.3	26.3	56.3	16.5	0.6	100.0
	合 計	（人）	46	368	304	84	2	804
		（％）	5.7	45.8	37.8	10.4	0.2	100.0

北陸大学医療保健学部理学療法学科について「ぜひ進学したいと思う」と回答したのは、804人のうち46人である。この46人については、大学進学を希望し、理学療法学分野に関心があり、北陸大学医療保健学部理学療法学科にも関心があり、かつぜひ進学したいと考えていることから、北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学希望者と考えることができよう。

次に、北陸大学医療保健学部理学療法学科について「進学先の1つとして検討すると思う」と回答したのは、804人のうち368人である。この368人については、大学進学を希望し、理学療法学分野に関心があり、北陸大学医療保健学部理学療法学科にも関心があることから、北陸大学医療保健学部理学療法学科を受験する可能性は十分にあると考えられる。特に、北陸大学医療保健学部理学療法学科に「とても興味・関心をもった」と回答している103人については、受験する可能性が高いと考えられる。

以上の分析を踏まえ、想定される受験者数を整理したものが次の表である。「ぜひ進学したいと思う」と回答した46人に加えて、「進学先の1つとして検討すると思う」と回答した回答者を北陸大学医療保健学部理学療法学科への関心度に応じて整理したものである。

想定される受験者数

		受験者数①	受験者数②	受験者数③
ぜひ進学したいと思う（人）		46	46	46
進学先の1つとして検討すると思う	とても興味・関心をもった（人）	103	103	103
	ある程度興味・関心をもった（人）	—	177	177
	少し興味・関心をもった（人）	—	—	88
合 計（人）		149	326	414
入学定員（60人）に対する受験倍率（倍）		2.48	5.43	6.90

受験者数①は、「ぜひ進学したいと思う」と回答した進学希望者に、「進学先の1つとして検討すると思う」と回答した回答者のうち北陸大学医療保健学部理学療法学科への関心が最も高い回答者を加えたグループである。つまり、受験する可能性が最も高いグループと考えられることから、北陸大学医療保健学部理学療法学科では、入学定員 60 人に対して少なくとも 2.48 倍の受験倍率を見込むことができると言えよう。

受験者数②及び③については、北陸大学医療保健学部理学療法学科への関心度がやや下がることから受験者として見込むことには不確定な面もあるが、受験する可能性があるという意味から、受験倍率は最大で 6.90 倍になると考えることができる。

入学定員 60 人に対して、本アンケート調査における進学希望者を 46 人とする、定員を充足するには残り 14 人の入学希望者の確保が必要になる。北陸大学医療保健学部理学療法学科を実際に受験することが期待される「進学先の1つとして検討すると思う」と回答した回答者の人数は、北陸大学医療保健学部理学療法学科への関心度により 103 人、280 人（＝103 人＋177 人）、368 人（＝103 人＋177 人＋88 人）となるが、これは 14 人に対して 7.4 倍、20.0 倍、26.3 倍の人数である。このことから、入学定員 60 人を満たすだけの入学希望者を確保することは、十分可能であると考えられる。

また、今回のアンケート調査は高校 2 年生の 10 月から 12 月の時期に実施したが、高校生の進路選択に関する調査によれば、大学進学者が学んでみたい分野を決めた時期は、高校 2 年生の 12 月までの段階で 55%程度であり、大学進学者の 4 割程度は、高校 2 年生の 1 月以降に分野を決定している。

大学進学者の「学んでみたい分野を決めた時期」

(%)

調査年	調査数 (人)	小学生 の頃・ それ以 前	中学生 の頃	高校1 年4～6 月	高校1 年7～9 月	高校1 年10～ 12月	高校1 年1～3 月	高校2 年4～6 月	高校2 年7～9 月	高校2 年10～ 12月	小計	高校2 年1～3 月	高校3 年4～6 月	高校3 年7～9 月	高校3 年10～ 12月	高校3 年1～3 月	あては まるこ とはな かった	無回答
2019年	2071	2.9	10.2	9.7	4.9	3.3	3.9	8.1	7.5	4.9	55.4	6.1	16.3	13.9	4.3	1.7	1.1	1.4
2016年	3051	3.3	11.1	10.7	5.3	4.9	4.2	7.1	7.2	5.5	59.3	5.6	15.0	12.0	3.8	1.1	1.4	1.8
2013年	3256	2.5	10.4	9.9	4.2	3.7	4.1	8.5	6.9	5.8	56.0	5.9	16.4	13.7	4.2	1.1	1.3	1.5
2011年	7502	2.5	9.8	9.1	3.7	3.6	3.9	7.4	6.2	5.9	52.1	5.9	18.0	14.9	5.5	1.3	1.7	0.6
2009年	8481	2.1	9.4	7.9	3.5	3.4	4.1	8.1	5.7	5.5	49.7	6.9	18.1	16.0	6.0	1.4	1.4	0.4

(出典)「進学センサス2019 高校生の進路選択に関する調査」株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

高校卒業後の進路（問４）で「大学」と回答した大学進学希望者（6,555人）について、北陸大学医療保健学部理学療法学科への興味・関心（問８）の回答結果と、北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学意向（問９）の回答結果をクロス集計したものが次の表である。

大学進学希望者における理学療法学科への興味・関心と進学意向のクロス集計

		理学療法学科への進学意向（問９）					
		1 ぜひ進学 したいと思 う	2 進学先の1つ として検討 すると思 う	3 あまり進学 したいと思 わない	4 進学したい と思わない	不明	合計
心 理 学 療 法 学 科 へ の 興 味 ・ 関 心 （問 ８）	1 とても興味・関心をもった（人）	64	122	22	27	0	235
	2 ある程度興味・関心をもった（人）	12	419	487	159	1	1,078
	3 少し興味・関心をもった（人）	3	278	1,595	659	18	2,553
	4 興味・関心をもたなかった（人）	5	14	324	2,206	9	2,558
	不 明（人）	0	2	1	0	128	131
	合 計（人）	84	835	2,429	3,051	156	6,555

大学進学希望者のうち、北陸大学医療保健学部理学療法学科に興味・関心があり、かつ「ぜひ進学したいと思う」と回答した回答者は79人（＝64人＋12人＋3人）である。この79人について、興味・関心がある分野（問５）で「理学療法学（リハビリテーション）」を選択した回答者と選択しなかった回答者の内訳をまとめたのが次の表である。

大学進学希望のうち理学療法学科に興味・関心がありかつ「ぜひ進学したいと思う」と回答した回答者の「理学療法学（リハビリテーション）」分野に係る興味・関心別内訳

	興味・関心がある分野 （問５）で「理学療法学 （リハビリテーショ ン）」を選択した回答者	興味・関心分野（問５） で「理学療法学（リハ ビリテーション）」を選 びしなかった回答者	合計
とても興味・関心をもった（人）	43	21	64
ある程度興味・関心をもった（人）	2	10	12
少し興味・関心をもった（人）	1	2	3
合 計（人）	46	33	79

前述の通り、大学進学を希望し、理学療法学分野に関心があり、北陸大学医療保健学部理学療法学科にも関心があり、かつぜひ進学したいと考えている46人については、北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学希望者と考えることができる。これに対して、理学療法学分野への関心を示す回答はしていないが、大学進学を希望し、北陸大学医療保健学部理学療法学科に関心があり、かつぜひ進学したいと考えている回答者が33人いる。この33人については、アンケート回答時点（高校2年生の10月から12月）において理学療法学分野に対する関心度は相対的に低い可能性があるが、北陸大学医療保健学部理学療法学科に関心があり、しかも進学を希望する回答

をしている。大学進学者のうち約4割は、高校2年生の1月以降に学んでみたい分野を決めていることを踏まえると、アンケート回答時点で、関心がある分野が明確になっていない回答者が、この33人の中に含まれていることは考えられよう。特に、北陸大学医療保健学部理学療法学科に「とても興味・関心をもった」と回答し、かつ「ぜひ進学したいと思う」と回答した21人については、関心がある分野として理学療法学を選択しなかったものの、北陸大学医療保健学部理学療法学科への進学を希望する可能性は十分にあると考えられる。

アンケート調査票

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査票
(令和3年度高校2年生対象)

北陸大学では、2023(令和5)年4月の開設に向けて「医療保健学部理学療法学科(仮称)」の設置の準備を進めています。

このアンケート調査は、高校生の皆様の卒業後の進路等に関する意向や本学が設置する「医療保健学部理学療法学科(仮称)」への興味・関心等についておたずねし、新学科設置のための基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。なお、本調査は客観性を担保するため、大学等の各種調査に関して多くの実績を持つ一般財団法人日本開発構想研究所に集計・分析等を委託します。この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ使い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用することはありません。

I. あなた自身についてお聞きします。

【回答欄】

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他の性自認

問2 あなたの通っている高校の所在地について教えてください。

1. 石川県 2. 富山県 3. 福井県 4. 新潟県 5. 岐阜県

問3 あなたが所属しているコースについて教えてください。

1. 文系クラス 2. 理系クラス 3. コース選択はない

4. その他 ()

Ⅱ. 高校卒業後の進路や興味・関心がある学びについてお聞きします。

問4 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか？

以下の項目からあてはまるもの1つだけ選んでください。

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校・専修学校 4. 就職
5. その他（ ）

*問5以降は、問4で「大学」、「短期大学」、「専門学校・専修学校」と答えた方への質問です。

*問4で「就職」、「その他」と答えた方はこれでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問5 あなたが高校卒業後、学びたいと考えている、興味・関心がある学問分野について、

以下の項目から3つまで選んでください。

- | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 理学療法学（リハビリテーション） | 2. 臨床検査学 | 3. 臨床工学 | 4. 薬学 |
| 5. 医学・歯学 | 6. 経済学・経営学 | 7. 語学・国際関係学 | 8. 法律・政治 |
| 9. 心理学 | 10. 教育学 | 11. 社会学 | 12. 文化・文学 |
| 13. 生命科学 | 14. 体育・健康科学 | 15. 情報科学 | 16. 保健・看護学 |
| 17. 工学・理学 | 18. 農学・水産学 | 19. 栄養学 | |
| 20. その他（ ） | | | |

問6 あなたが進学先を決定する際に重視することを教えてください。以下の項目から

3つまで選んでください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 学部・学科の分野 | 2. 取得可能資格・免許 | 3. 教育内容 |
| 4. 教員の充実度 | 5. 就職指導及び就職実績 | 6. 入試難易度・入試科目 |
| 7. 国立・公立・私立の別 | 8. 学費等のコスト | 9. 校舎・施設の充実度 |
| 10. 寮の有無 | 11. 所在地 | 12. 学校の先生の意見 |
| 13. 家族の意見 | 14. 友人の意見 | 15. 大学生や卒業生の意見 |
| 16. 伝統・世間での評判 | 17. その他（具体的に | |

【裏面に続く】

Ⅲ. 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）についてお聞きします。

※アンケートに同封している資料を見ながらお答えください。

問7 あなたは北陸大学をご存知ですか？以下の項目から1つだけ選んでください。

1. よく知っている 2. 知っている 3. 聞いたことはある 4. 知らない

問8 あなたは、北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）に興味・関心をもちましたか？
以下の項目から1つだけ選んでください。

1. とても興味・関心をもった 2. ある程度興味・関心をもった
3. 少し興味・関心をもった 4. 興味・関心をもたなかった

問9 あなたは、北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）に進学したいと思いますか？
一番近いものを1つだけ選んでください。

1. ぜひ進学したいと思う 2. 進学先の1つとして検討すると思う
3. あまり進学したいと思わない 4. 進学したいと思わない

問10 問9で〈1〉〈2〉を選んだ方に質問します。

あなたが北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）へ「ぜひ進学したいと思う」、「進学先の1つとして検討する」理由は何ですか。以下の項目から該当するものを2つまで選んでください。

1. 希望の資格（理学療法士）取得 2. 立地（地元にある、自宅通学圏内）
3. 他校にはない特色 4. これまでの北陸大学の実績や評判
5. 先輩が北陸大学に進学している
6. その他（具体的に ）

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ***

【参考：北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）と同分野大学の初年度学費】

* 理学療法学科（仮称）は計画中であり、学科名称や授業料等は正式に決まったものではなく、変更される可能性があります。

* 他大学の学納金は各大学のホームページ掲載情報に基づきます（2021年8月）。

大学名	学科等	所在地	入学金	授業料	教育充実費 施設設備費	実習費	初年度合計
金城大学	理学療法学科	石川県白山市	270,000	960,000	290,000	250,000	1,770,000
福井医療大学	リハビリテーション学科	福井県福井市	250,000	900,000	200,000	200,000	1,550,000
新潟医療福祉大学	理学療法学科	新潟県新潟市	350,000	1,000,000	350,000	150,000	1,850,000
中部学院大学	理学療法学科	岐阜県関市	300,000	800,000	457,500	220,000	1,777,500
岐阜保健大学	理学療法学科	岐阜県岐阜市	200,000	700,000	550,000	200,000	1,650,000



21世紀を生き抜くチカラ。

北陸大学

目指すのは
これからの
理学療法士

歩行支援ロボット

心へのアプローチ

QOL

この時代

遠隔リハビリ

生活習慣病予防

手のぬくもり

スポーツコンディショニング

歩行分析

運動療法

職種連携

地域包括

ケアシステム

画像診断

スポーツ科学

物理療法

人と人の

ふれあいの

障害予防

健康社会

コミュニケーション

疾病予防 姿勢分析

チーム医療

医療保健学部到新学科開設予定 (仮称／設置構想中)

理学療法学科

2023年4月開設予定

入学定員60名 | 4年制 | 男女共学

人生100年時代を支えていく これからの理学療法士を育てる

世界一の長寿大国日本では、2050年までに100歳以上人口が100万人を突破し、2007年以降に生まれた子どもの半数は107年以上生きると予想されています。人生100年時代を迎えた社会では、住み慣れた地域で自分らしい生活を送り続ける「健康な身体」が、ますます大きな意味と価値を持ちます。

しかし、長い人生において、避けて通れないのが病気や怪我のリスクです。また、スポーツ障害、交通事故の後遺障害、脳卒中などの疾病に起因する神経障害、生活習慣病による内部障害など、それまでの生活を一変させる「障害」を引き起こす可能性もゼロではありません。そうした身体の動作能力や運動機能の改善、回復をはじめ、介護予防、健康の維持・増進に向けて、理学療法の領域から寄与する理学療法士は、健康長寿社会を支える重要な医療専門職です。

北陸大学は1975年の開学以来、「健康社会の実現」を使命としてまいりました。2023年4月開設予定の医療保健学部 理学療法学科では、理学療法の確かな知識・技術・マインドを備え、科学的根拠に基づいて身体に影響を及ぼす支障を見極めて解決し、高度化・多様化するチーム医療に貢献するこれからの理学療法士を養成します。

理学療法士とは？

病気、怪我、高齢、障害などにより、活動・生活の基盤となる基本的な動作能力や運動機能が低下した人々（またはその恐れのある人々）に対して理学療法を行い、動作の改善や回復を図る国家資格です。

- 動作能力・運動機能の改善、回復
- 高齢者の運動機能低下の予防
- 生活習慣病などの予防
- アスリートの競技復帰、競技力向上

卒業後の進路

幅広いフィールドで 活躍できる理学療法士

理学療法士は、赤ちゃんから高齢者までを対象として、幅広いフィールドで活躍できる専門職です。病院やクリニック、介護施設をはじめ、特定保健指導や介護予防など、予防のための専門家として活躍することも期待されています。また、障害者福祉センターや障害者（児）通所・入所施設、特別支援学級・学校に勤務して障害者や障害児、児童・生徒に関わることも重要な仕事です。このほか、スポーツチーム専属の理学療法士、大学や研究所、行政の保健所や保健センター、企業に勤務するなど、活躍のフィールドは実に多彩です。近年は、ロボットなどの先端的デバイスを用いて複合的なリハビリを提供できる理学療法士のニーズも高まっています。



疾病予防
チーム医療

AI

多職種連携
人と人との
ふれあい

健康寿命

IoT

遠隔

リハビリ

ハビリ

心へのアプローチ

手のぬくもり
運動療法
スポーツ科学
姿勢分析



物理療法
スポーツコンディショニング
歩行支援

ロボット

QOL

地域包括
ケアシステム

シロ
ンシ
ンキ
ル

画像診断

障害予防

コミュニケーション

—学生確保（資料）—31—

生活習慣病予防

理学療法の知識と技術をもって、高度化・多 全世代の健康に優しく寄り添える理学療法

教育の特色

01 理学療法学の専門知識と技術が修得できる 徹底した基盤教育

理学療法の基盤となる幅広い科目を学び、代表的疾患・障害、特に運動器疾患、脳血管疾患、内部疾患（心大血管、呼吸器疾患、糖尿病等）への理解を深め、専門知識と技術を修得します。

02 実践的で体系的な 臨床実習（医療・介護施設等）の展開

患者・利用者・対象者を軸に、個々の要望や願いをベースとした実践的かつ体系的な臨床実習を通して、医療専門職に不可欠な倫理観、使命感、責任感を醸成します。

03 スポーツ、介護予防、健康増進に貢献できる 知識と技術の育成

スポーツ外傷・障害の予防、介護予防、生活習慣病予防、フレイル予防などに対する知識・技術を深め、疾患別リハビリテーションから介護予防、健康増進にも貢献し得る人材を育てます。

04 経験と実績豊富な実務家教員による教育

研究業績と実績豊富な実務家教員が、医療・介護領域から予防領域、地域での健康増進活動など、今後、理学療法士の活躍が期待される領域までを網羅する実践的な教育を行います。

05 科学的根拠に基づきリハビリテーションが 身につく最先端の教育・実習・研究環境

地域の医療機関や介護施設、企業、スポーツチームと提携した教育・臨床・研究の拠点として、先端のデバイスを用いた運動指導や実践データの提供、卒後セミナーを行う最先端の環境を整備します。



New

充実した学びが広がる新校舎を建設

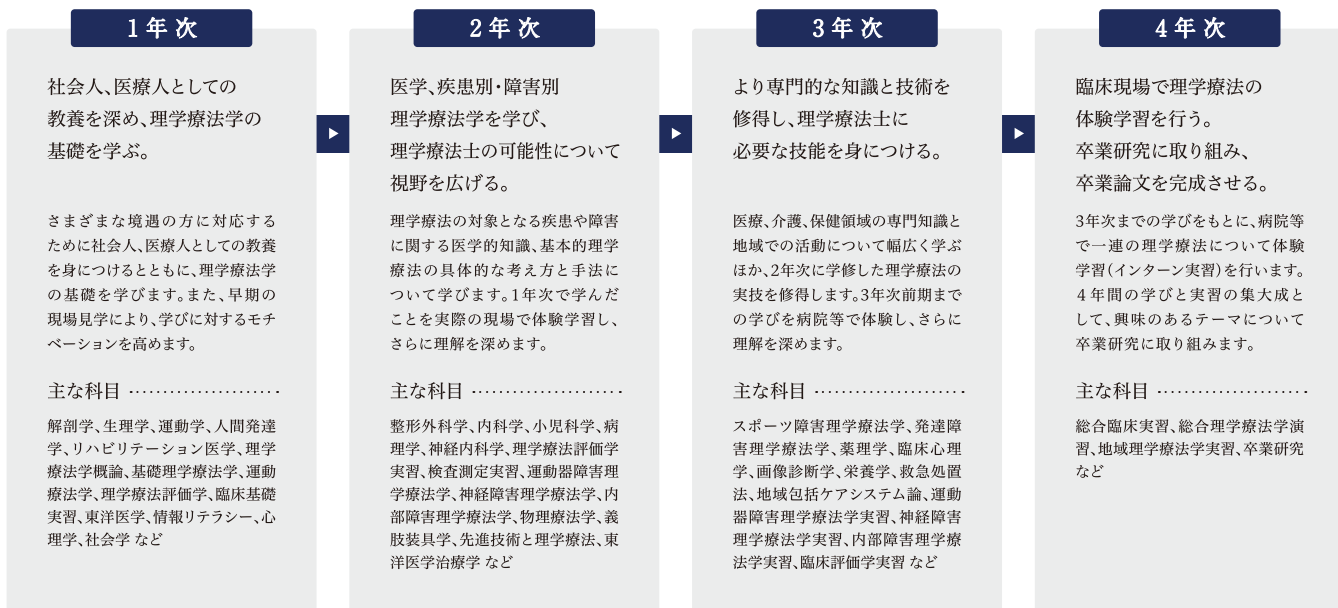
新校舎には、ヒトを対象とした臨床的、基礎的研究のほか、動物実験による基礎研究も行える「動物実験室」、先進的ロボットや遠隔地との通信システムを活用する「実験研究室」、最先端の計測機器や運動機器、物理療法機器を備えた「運動学・機能評価室」を完備。理学療法に関わる先端的研究を実践するための充実した学習環境を整備します。

2023年3月完成予定



多様化する社会の課題解決と発展に貢献し、 士を養成します

カリキュラム



国際交流プログラム

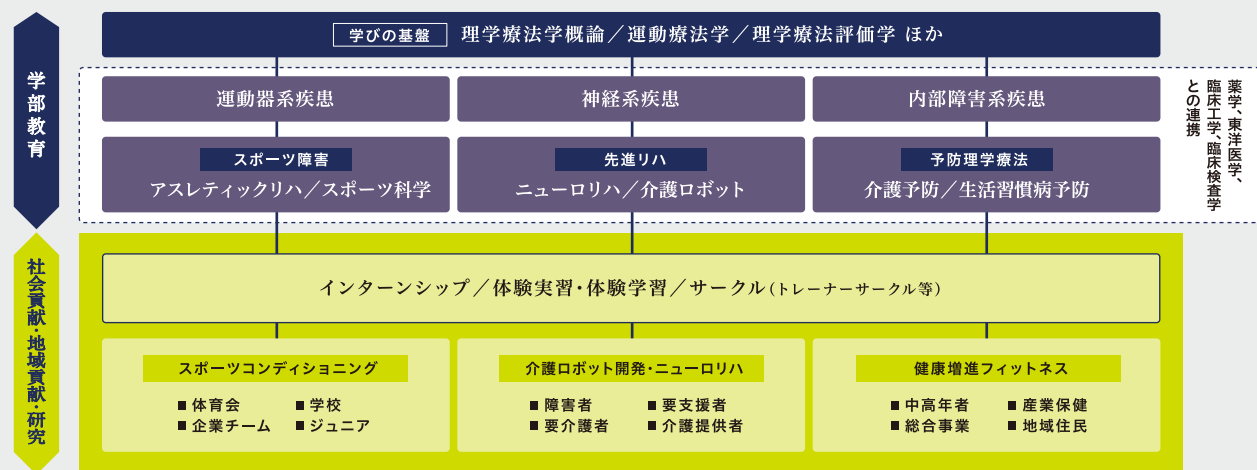
国際的な視野を広げるために、希望者を対象に海外研修の実施を予定しています。
現地の病院や医療機関などの見学および研修を通じて、日本と海外の医療事情を比較検討し、リハビリテーションの知識を深めます。

取得可能な資格

■ 理学療法士（国家資格）受験資格

先端のデバイスを用いた最先端の教育・臨床・研究の拠点形成を目指す

理学療学科の開設とともに地域の人々や遠隔地の在住者を対象とする理学療法の拠点づくりを目指しています。医療機関や介護施設、企業、スポーツチームと提携した教育・臨床・研究の拠点として、先端のデバイスを用いたエビデンスのある運動指導や実践データの提供、卒後セミナーなどを行い、最先端の教育に広く活用することを計画しています。



※新学科設置は計画中であり、学科名称・授業料等の内容については変更となる場合があります。

高度化・多様化するチーム医療に貢献し、 人々の身体、生活、人生に優しく寄り添う理学療法士を育てます

理学療法士は、様々な病気やケガ、障害により、日常生活に支障を来した方を治療し、支え、改善し、生活を共に再設計する医療専門職です。病院や施設、地域で病気やケガ、障害のある方に関わるだけでなく、障害や病気の予防、健康維持・増進の領域でも活躍が期待されています。科学的根拠と論理的思考に基づいて、身体の支障を最も早く解決する方法を見極め、実践する理学療法士の能力は、AI(人工知能)研究者をはじめ広く社会から評価され、ロボット工学の分野でも注目されています。一方で、理学療法士が患者さんに関わる場面では、対人関係や信頼関係が重要であり、その関係構築や実際に対応する場の「空気」はAIには作ることができないとも言われています。理学療法学科では、多様な分野で経験を積んだ実務家教員が、これからの理学療法士に求められる確かな知識・技術・マインドを教育し、本学の使命とする「健康社会の実現」に向けて全世代の人々に優しく寄り添える理学療法士を養成します。



医療保健学部 教授
学長補佐(新学科設置準備担当)
公益社団法人日本理学療法士協会 副会長

大工谷 新一

医療保健学部 理学療法学科

教育理念	人々の命を守り、健康増進・維持に貢献する理学療法士を養成することにより、健康豊かで安心な社会を目指す。	人材養成の目的	疾病の治療・予防、介護予防・障害予防、人々の健康維持・増進に理学療法の領域から寄与し、科学的根拠に基づくリハビリテーションが実践できる理学療法士を養成する。
-------------	---	----------------	--

本学は、「健康社会の実現」を目指して、地域医療に貢献する専門職を広く養成します

北陸大学は、人類の文化の躍進と福祉の向上、国民の健康に奉仕する大学を標榜して、1975年に開学しました。開学当時から薬剤師を養成する薬学部を設置し、2017年には臨床検査技師および臨床工学技士を養成する医療保健学部を設置し、地域医療に貢献する医療系専門職を広く養成してまいりました。2023年4月の理学療法学科開設により、薬学部および医療保健学部がこれまで以上に連携を強化し、よりきめ細かく総合的に地域医療に携わる人材養成を行い、本学の使命である「健康社会の実現」を目指してまいります。

学 費	※2023年4月開設時の授業料等の予定額です。※新学科に類似する大学の初年度(1年次)の授業料等については別紙を参照して下さい。				
入学定員	入学金	授業料	教育充実費	初年度(1年次) 合計	2年次以降 合計
60人	200,000円	1,100,000円	400,000円	1,700,000円	1,500,000円

アクセス	太陽が丘キャンパス	〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1	TEL. 076-229-1161(代表)
	薬学キャンパス	〒920-1181 石川県金沢市金川町ホ3	TEL. 076-229-1165(代表)

車(金沢森本ICから)	バス(金沢駅から)
太陽が丘キャンパス 所要時間約30分 薬学キャンパス 所要時間約45分	太陽が丘キャンパス バス停「北陸大学太陽が丘」まで所要時間約30分 薬学キャンパス バス停「北陸大学薬学部」まで所要時間約45分
金沢外環状道路を金沢市街方面へ進みしばらく直進。田上町(交差点)を左折、県道209号線へ。館町(交差点)を左折、県道10号線を進むと案内看板があります。	金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから、北陸大学へ向かうバス乗場が2つあります。 金沢駅兼六園口(東口) 6番乗場 北陸大学行／7番乗場 湯涌・北陸大学行

※新学科設置は計画中であり、学科名称・授業料等の内容については変更となる場合があります。



21世紀を生き抜くチカラ。

北陸大学

- 薬学部 薬学科
- 医療保健学部 医療技術学科
- 経済経営学部 マネジメント学科
- 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科
- 国際コミュニケーション学部 心理社会学科

【お問い合わせ先】北陸大学 新学科設置準備室 石川県金沢市太陽が丘1-1 076-229-1161(代表) 北陸大学の最新情報はこちら www.hokuriku-u.ac.jp



長期ビジョン 北陸大学 Vision50 (by 2025) 2025年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。

近隣県における競合大学同系学部学科の入学定員、入学志願者数、入学者数等の状況

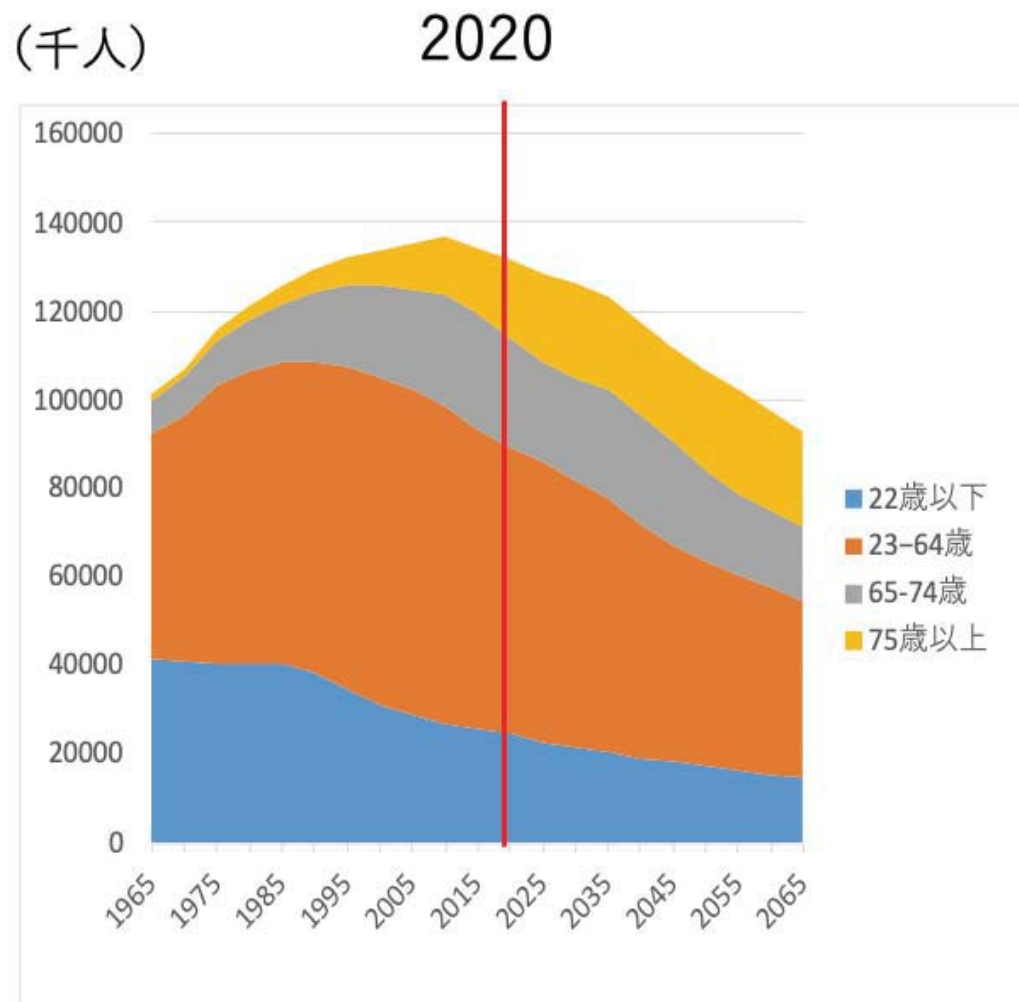
大学名	学部・学科・専攻		2019(令和元) 年度	2020(令和2) 年度	2021(令和3) 年度
金城大学	医療健康学部 理学療法学科	入学定員	60	60	60
		志願者	195	252	254
		志願者倍率	3.25	4.20	4.23
		合格者	111	121	102
		入学者	65	64	64
福井医療大学	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻	入学定員	50	50	50
		志願者	121	123	113
		志願者倍率	2.42	2.46	2.26
		合格者	82	75	73
		入学者	54	61	60
新潟医療福祉大学	リハビリテーション学部 理学療法学科	入学定員	120	120	120
		志願者	674	758	615
		志願者倍率	5.61	6.31	5.12
		合格者	207	222	212
		入学者	135	135	140

※各大学ホームページ公開データをもとに作成

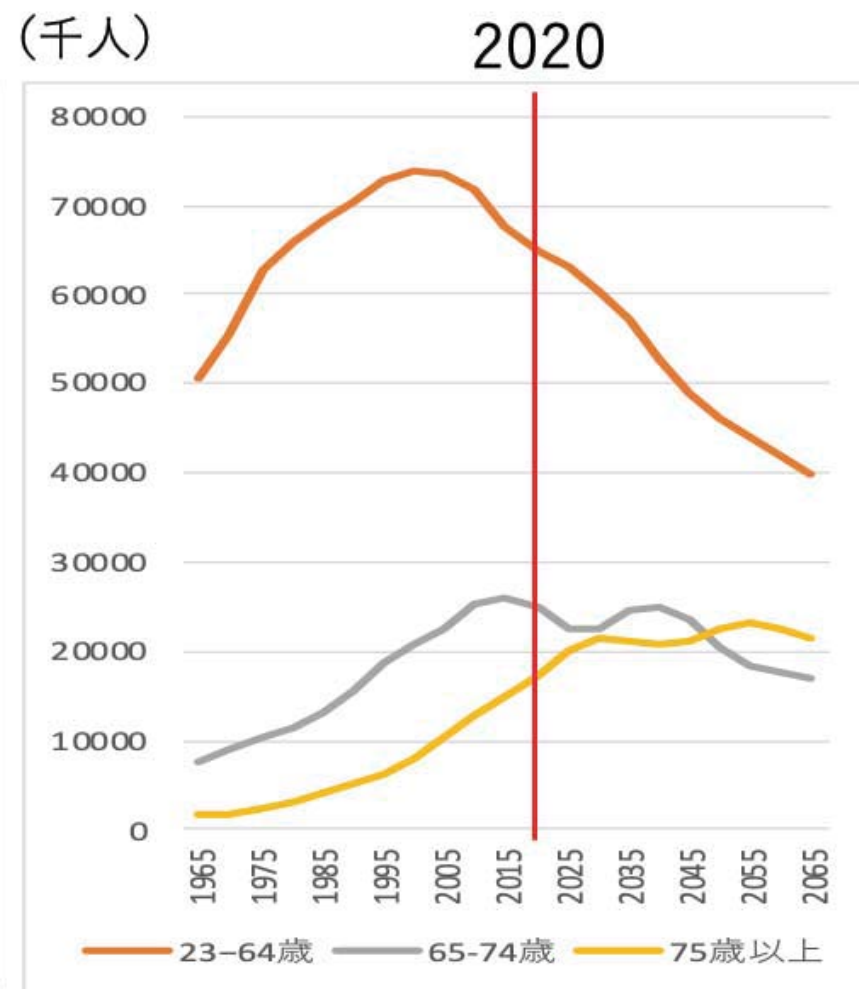
近隣県における競合大学同系学部学科学生納付金一覧

大学名	学科等	所在地	入学金	授業料	教育充実費 施設設備費	実習費	初年度合計
金城大学	理学療法学科	石川県 白山市	270,000	960,000	290,000	250,000	1,770,000
福井医療大学	リハビリテーション学科	福井県 福井市	250,000	900,000	200,000	200,000	1,550,000
新潟医療福祉大学	理学療法学科	新潟県 新潟市	350,000	1,000,000	350,000	150,000	1,850,000
中部学院大学	理学療法学科	岐阜県 関市	300,000	800,000	457,500	220,000	1,777,500
岐阜保健大学	理学療法学科	岐阜県 岐阜市	200,000	700,000	550,000	200,000	1,650,000

※各大学ホームページ公開データをもとに作成

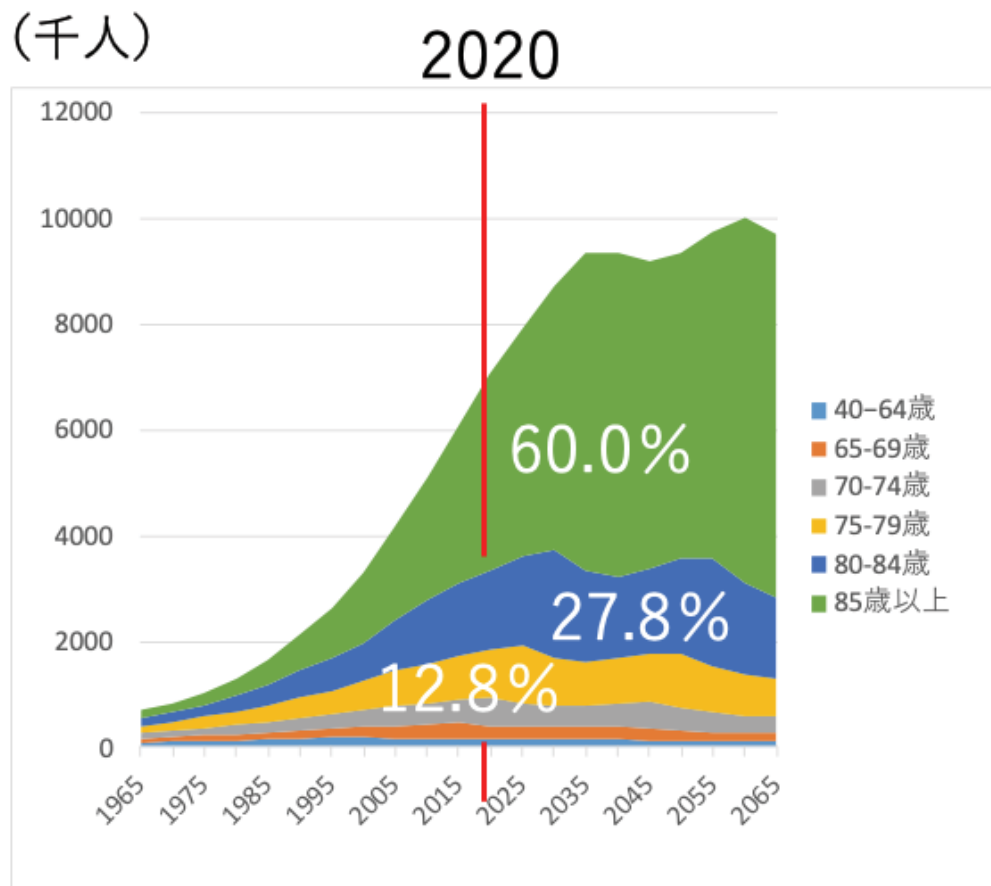


年齢区分別人口推移（1965-2065）



年齢区分別人口推移（1965-2065）

「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を加工して作成



要介護要支援の占める割合

割合データは一般財団法人生命保険文化センターHPより[厚生労働省介護給付費等実態統計月報]、総務省「人口推計月報」(2019/07)を参考に作図

理学療法士・作業療法士の 需給推計について

※ 今回の需給推計の位置付けについて(案)

- ・今回の需給推計は、第2回理学療法士・作業療法士需給分科会(前回)における議論を踏まえ、一定の仮定・前提の下に厚生労働省が計算した推計結果を、たたき台として議論のために供するもの
- ・このため、本推計については今回の議論や、医療政策等の状況も踏まえ、必要な見直しを行っていくこととしてはどうか

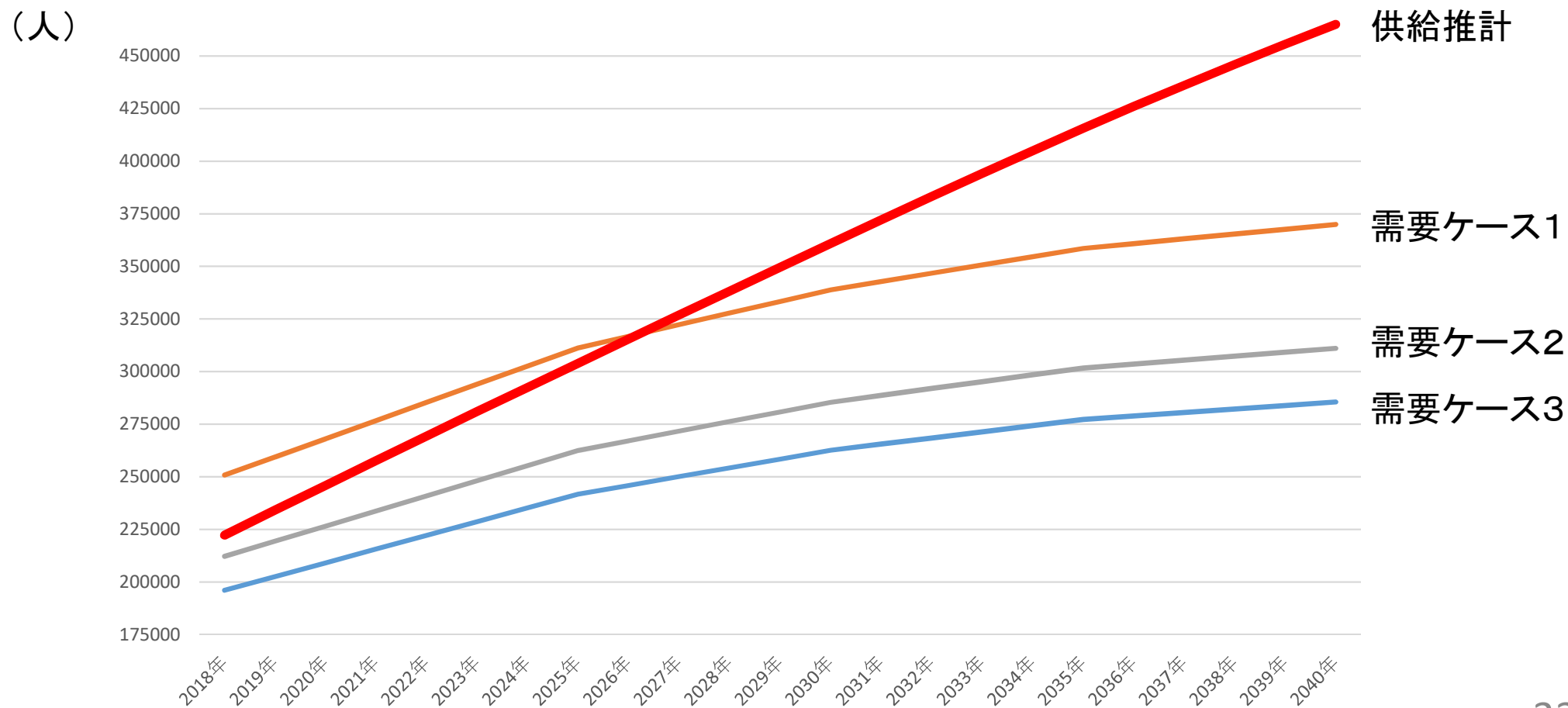
理学療法士・作業療法士の需給推計について(案)

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計 全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比(仕事率)を考慮して推計。

需要推計 ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※ 精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



北陸三県における理学療法士学校養成施設と修学年限、定員

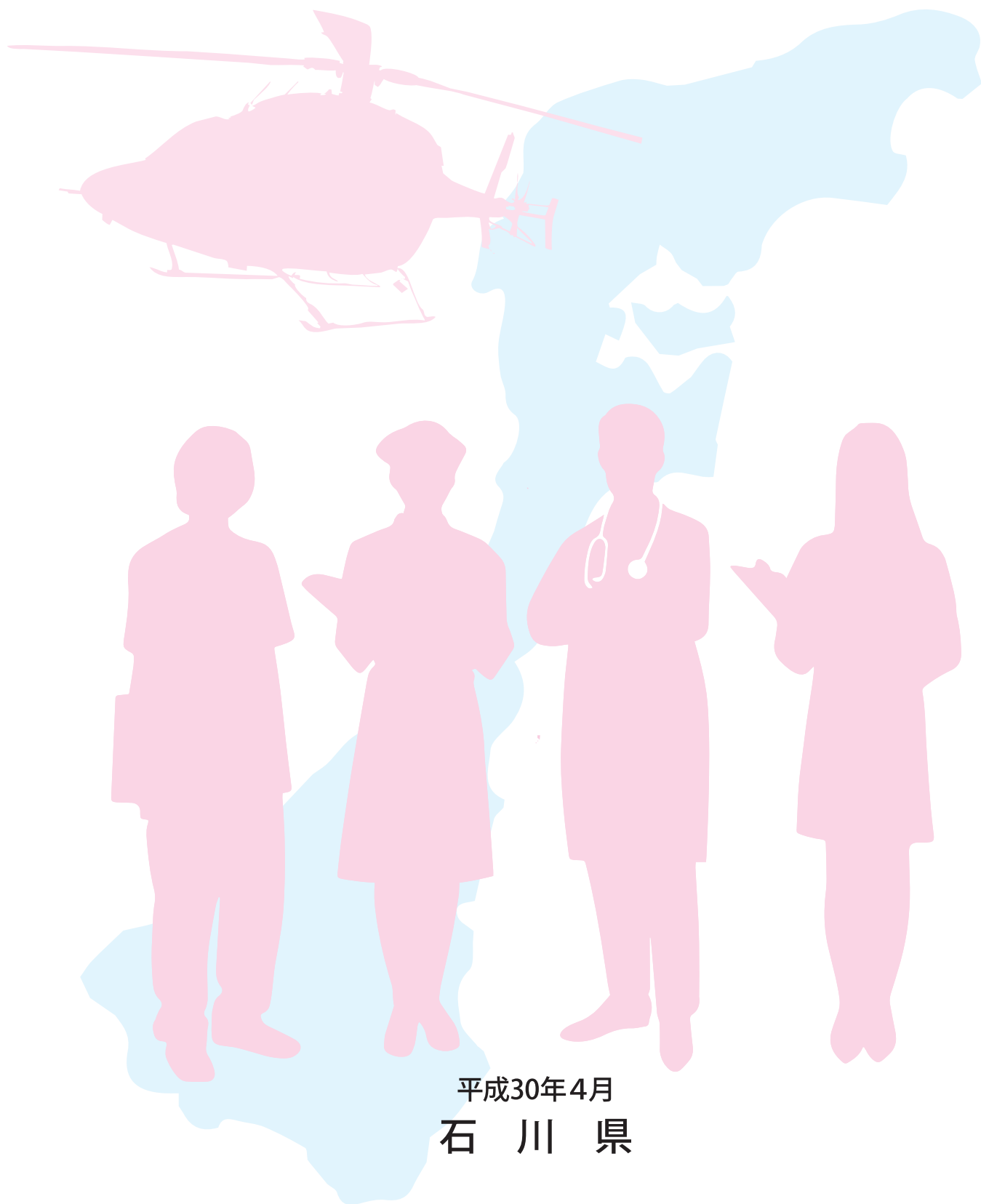
所在地	学校養成施設名	年限	定員
石川県	金沢大学医薬保健学域保健学類理学療法学専攻	4	15
石川県	金城大学医療健康学部理学療法学科	4	60
石川県	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー	3	40
石川県	国際医療福祉専門学校七尾校	3	35
富山県	富山医療福祉専門学校	4	30
富山県	富山リハビリテーション医療福祉大学校	4	40
福井県	福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	4	50
福井県	若狭医療福祉専門学校	3	40
合計			310

参考（地区別養成定員）

北海道	北海道	658
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	868
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野	4468
中部	富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重	1605
関西	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2687
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1260
四国	香川、徳島、愛媛、高知	586
九州	福岡、佐賀、熊本、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄	2587

（出典：日本理学療法士協会ホームページ、2021年5月26日閲覧）

石川県医療計画



(写真)

はじめに

生涯を通じ、心身ともに健康で、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくことは、県民すべての願いであるとともに、地域発展の基盤となるものです。

本県ではこれまで、医療の提供体制の基本的な方針として、昭和62年に第1次医療計画を策定して以来、数次の見直しを重ねながら、がんや脳卒中などの疾病ごとの適切な医療連携体制の構築や、医師や看護師をはじめとする医療従事者の確保など、関係者とともに医療提供体制の充実に取り組んでまいりました。

この間、少子高齢化の進展や社会構造の変化に伴い、患者の疾病構造も変化しています。

特に、医療や介護を必要とする高齢者が増加していることから、医療従事者の確保や育成が課題となっているほか、医療に対する県民のニーズも多様化しており、患者の状態に応じた医療機能の分化や医療と介護との連携がこれまで以上に必要となっています。

今回の医療計画では、疾病ごとに、予防や早期発見はもとより、診断・治療からリハビリテーション、在宅等での療養に至るまで切れ目のない医療を提供することや、医療従事者の確保、さらには本年1月に開院した新県立中央病院における高度専門医療の提供やドクターヘリの導入など、適切な医療提供体制を構築するための環境整備にも引き続き取り組むことを盛り込んでいます。

県民生活の安全・安心の確保は県政の基本であり、県民の皆様が安全で良質な医療を受けることができる地域社会の構築を目指し、関係機関と連携・協力しながら本計画の着実な推進に取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見、ご指導をいただきました石川県医療審議会、石川県医療計画推進委員会及び専門部会並びに医療圏保健医療計画推進協議会の委員の皆様をはじめ関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成30年4月

石川県知事 谷 本 正 憲

表 看護師等学校養成所卒業状況

(平成 29 年 3 月)

入学時状況 (人)		卒業状況 (人)			
定員	入学者数	卒業生総数	県内就業	県外就業	進学・その他
1,031	799	745 (100.0%)	448 (60.1%)	210 (28.2%)	87 (11.7%)

(平成 24 年 3 月)

入学時状況 (人)		卒業状況 (人)			
定員	入学者数	卒業生総数	県内就業	県外就業	進学・その他
1,015	807	713 (100.0%)	454 (63.7%)	202 (28.3%)	57 (8.0%)

【理学療法士・作業療法士】

(1) 現状と課題

- リハビリテーション技術の高度化や退院後の生活期リハビリテーションの充実に
 対応するために、理学療法士・作業療法士の資質の向上を図る必要がある。

県内の病院に就業している理学療法士及び作業療法士は、平成 28 年 10 月 1 日現在、それぞれ 739.9 人及び 467.0 人、人口 10 万対ではそれぞれ 64.3 人（全国 58.5 人）及び 40.6 人（全国 34.6 人）であり、いずれも全国平均を上回っている。

現在、本県には、理学療法士及び作業療法士の養成施設として、金沢大学医薬保健学域保健学類（入学定員各 20 人）、金沢リハビリテーションアカデミー（入学定員各 40 人）、国際医療福祉専門学校七尾校（入学定員各 35 人）、金城大学医療健康学部（入学定員、理学療法学科 60 人、作業療法学科 30 人）がある。

また、リハビリテーション技術の高度化や退院後の生活期リハビリテーションの充実に対応するため、理学療法士及び作業療法士の資質の向上を図る必要がある。

なお、県リハビリテーションセンターが「地域リハビリテーション推進事業」として、地域のリハビリ関係者に対する教育研修及び専門的技術支援・指導を実施している。

(2) 対策

- 県理学療法士会及び県作業療法士会は、理学療法士及び作業療法士の資質向上に向けた研修会を実施する。

① 理学療法士及び作業療法士の確保

市町、介護老人保健施設等は、必要なリハビリテーションを提供するため、理学療法士及び作業療法士を確保するよう努める。

② 生涯研修の推進

ア 県理学療法士会及び県作業療法士会は、理学療法士及び作業療法士の資質向上に向けた研修会を実施する。

イ 県リハビリテーションセンターが実施している教育研修及び専門的技術支援・指導のより一層の充実を図る。

表 理学療法士数の年次推移（病院勤務者のみ）

年度	石川県		全 国
	人数(常勤換算)	人口10万対	人口10万対
平成25年	604.7	52.2	48.5
平成26年	664.1	57.5	52.1
平成27年	695.4	60.2	55.5
平成28年	739.9	64.3	58.5

資料：「病院報告」（厚生労働省）

表 作業療法士数の年次推移（病院勤務者のみ）

年度	石川県		全 国
	人数(常勤換算)	人口10万対	人口10万対
平成25年	408.8	35.3	29.4
平成26年	427.5	37.0	31.3
平成27年	443.0	38.4	32.6
平成28年	467.0	40.6	34.6

資料：「病院報告」（厚生労働省）

表 医療圏別理学療法士・作業療法士数（病院勤務者のみ 平成28年）

医療圏	理学療法士		作業療法士	
	人数(常勤換算)	人口10万対	人数(常勤換算)	人口10万対
南加賀	138.1	60.4	87.6	38.3
石川中央	473.8	65.0	310.4	42.6
能登中部	100.0	79.1	56.0	44.3
能登北部	28.0	42.0	13.0	19.5
計	739.9	64.3	467.0	40.6

資料：「病院報告」（厚生労働省）

石川県長寿社会プラン2021

石川県老人福祉計画
石川県介護保険事業支援計画

2021（令和3）年度～2023年度計画

2021（令和3）年3月

石川県

はじめに

我が国では、総人口が減少する一方、高齢者人口は増加しており、現在、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

また、いわゆる「団塊の世代」の方々が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、介護などの支援を必要とする高齢者の増加が見込まれ、こうした方々を支える介護人材の確保・育成も進めていく必要があります。



高齢者の方々が、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていくためには、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援サービスが連携し、切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築が重要であるとともに、元気な高齢者の方々が、豊かな知識や経験を活かしてご活躍いただける地域づくりが必要です。

このため、県では、「石川県長寿社会プラン」を抛り所に、介護人材の確保・育成のほか、医療と介護の連携や多様な生活支援サービスの推進、認知症高齢者への地域における支援体制の充実などに取り組んでまいりました。

一方、近年、全国各地で相次ぐ大規模な自然災害や、昨年来続く新型コロナウイルスの感染拡大などを受け、高齢者施設における災害対策や感染症対策の強化といった新たな課題も生じています。

こうした状況を踏まえ、本プランでは、「石川県長寿社会プラン2018」の基本的な考え方を継承し、引き続き「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組みつつ、災害や感染症が発生した場合でも安定的にサービスを継続できる体制づくりを進めるなど、高齢者の方々がいつまでも健康で生きがいを持って安心して暮らせる健康長寿の社会づくりを推進していくこととしています。

今後とも、市町をはじめ、関係団体や地域の方々と連携を図りながら、本プランの着実な実現に向けて取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本プランの策定にあたり、貴重なご意見やご提言を賜りました関係の皆様には、厚く御礼申し上げます。

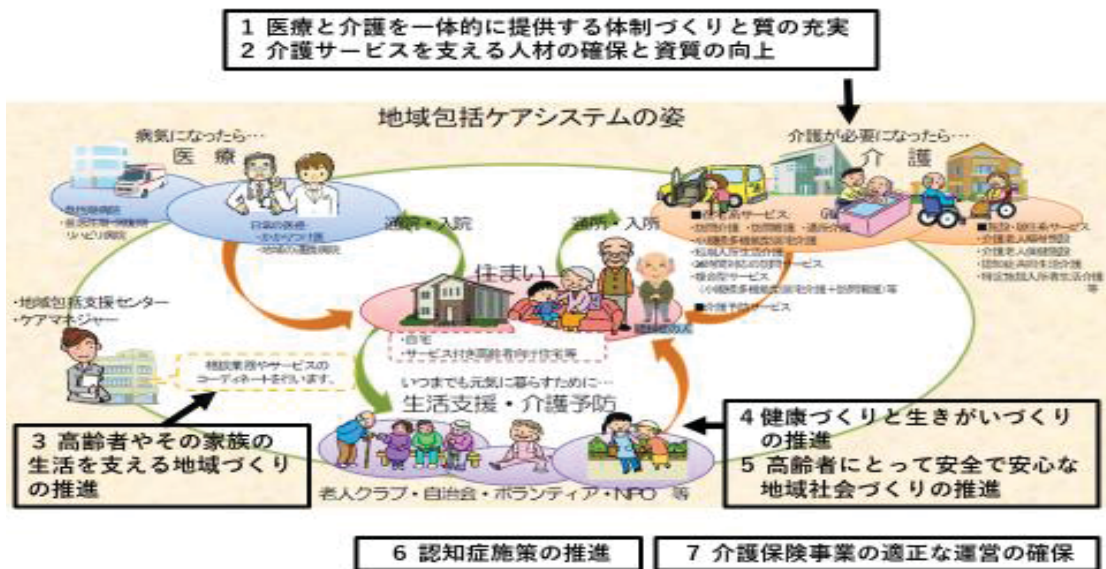
令和3年3月

石川県知事 谷 本 正 憲

第5部 施策の推進方策

本県では、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、以下の7項目を施策の柱に掲げ、様々な取組を積極的に展開します。

7つの施策の柱



施策の体系

1 医療と介護を一体的に提供する体制づくりと質の充実

- (1) 利用者の立場に立ったサービスの拡充と介護保険施設等の整備
- (2) 介護サービス事業所の災害・感染症対策
- (3) 高齢者の権利擁護と養護者支援の推進
 - ① 高齢者虐待の防止と養護者支援等の推進
 - ② 介護保険施設等における身体拘束廃止の徹底
- (4) サービスの円滑かつ適正な利活用の推進と事業者の質の向上
 - ① 情報提供の充実
 - ② 介護サービス提供事業者の質の向上
 - ③ サービス苦情処理体制の整備
- (5) 医療との連携強化
 - ① 医療と介護の連携推進と在宅医療の充実
 - ② 地域リハビリテーション体制の充実

2 サービスを支える人材の確保と資質の向上

- (1) サービスを支える人材の確保
 - ① 新規卒就職者の確保
 - ② 他分野からの就業促進
 - ③ 潜在介護・福祉人材の再就業促進
 - ④ 就業者の定着促進
- (2) サービスを支える人材の養成と資質向上

3 高齢者やその家族の生活を支える地域づくりの推進

- (1) 地域包括ケアシステムの深化
 - ① 地域包括支援センターの機能強化
 - ② 地域包括ケアシステム推進にかかる市町の取組支援
- (2) 生活支援サービス等の基盤整備の推進
- (3) 介護予防の推進
- (4) 身近な相談体制の整備
 - ① 相談体制の充実
 - ② 要介護者の家族等への支援

4 健康づくりと生きがいづくりの推進

- (1) 運動習慣づくりの推進
- (2) 適切な食生活の推進（口腔ケアと栄養管理）
- (3) 生きがいづくりと社会参加の促進
 - ① 老人クラブ等の生きがい活動の充実
 - ② 学習機会の拡充
 - ③ 地域貢献活動への参加促進
 - ④ 高齢者雇用の機会確保と促進
- (4) 働く世代からの健康づくりの推進

5 高齢者にとって安全で安心な地域社会づくりの推進

- (1) 地域における支え合いの推進
 - ① 地域での見守り体制等の充実
 - ② 高齢者福祉ボランティアの育成
- (2) 安全で安心な地域社会づくり
 - ① バリアフリー社会の推進
 - ② 多様な住環境の整備
 - ③ 共生社会づくりの推進
 - ④ 消費生活の安全確保及び犯罪被害の防止
 - ⑤ 高齢者の交通安全対策の推進
 - ⑥ 地域における災害に対する体制の整備

6 認知症施策の推進

- (1) 早期診断と診療体制の整備、円滑な退院と在宅療養の支援
- (2) 介護サービス事業所等における認知症対応力の強化
- (3) 地域における支援体制の構築

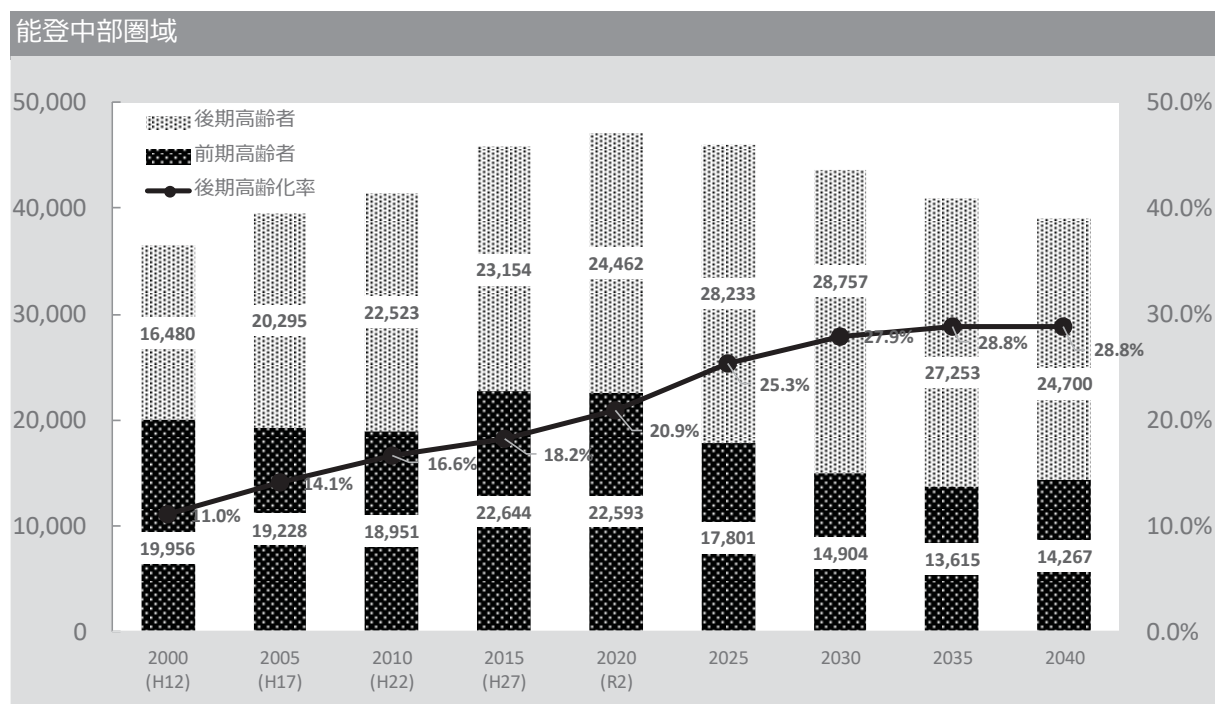
7 介護保険事業の適正な運営の確保

- (1) 公平・公正かつ適切な要介護認定の実施体制の確保
- (2) 介護給付適正化の推進
- (3) 介護サービス事業者に対する指導の徹底

③ 能登中部

高齢者人口は、これまで増加してきましたが、令和2年頃をピークに減少に転じる見込みです。

総人口に占める後期高齢者の割合は、令和2年には5人に1人であり、2030年頃には総人口の減少もあってピークを迎え、3.5人に1人まで増えると見込まれています。



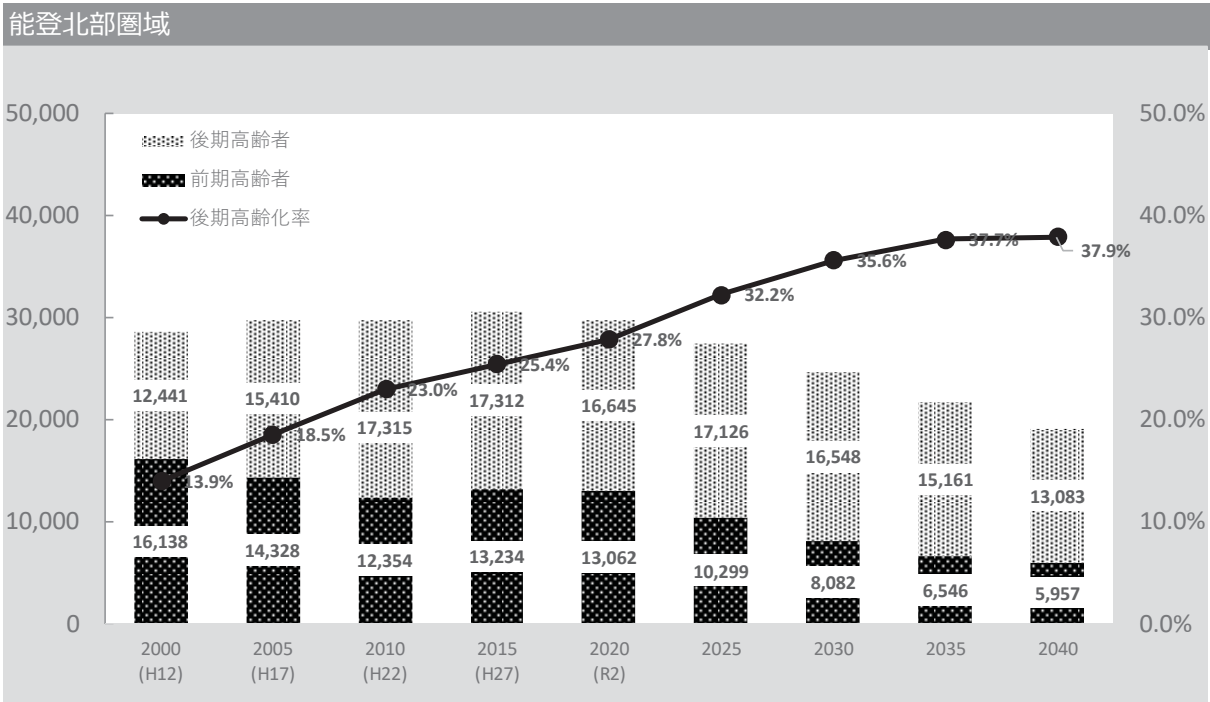
(単位：人)

年	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025	2030	2035	2040
総人口	149,940	144,373	135,960	128,221	118,100	111,521	102,998	94,500	85,907
65歳以上	36,436	39,523	41,474	45,798	47,055	46,034	43,661	40,868	38,967
前期高齢者	19,956	19,228	18,951	22,644	22,593	17,801	14,904	13,615	14,267
後期高齢者	16,480	20,295	22,523	23,154	24,462	28,233	28,757	27,253	24,700
後期高齢化率	11.0%	14.1%	16.6%	18.2%	20.9%	25.3%	27.9%	28.8%	28.8%

④ 能登北部

高齢者人口は、既にピークを過ぎており減少が進む見込みです。

総人口に占める後期高齢者の割合は、令和 2 年で既に 3.5 人程度に 1 人であり、他の圏域に比べ後期高齢者の割合は高い状況です。その後、しばらくの間は横ばいで進みますが、総人口の減少により、2035 年頃には、2.5 人程度に 1 人の割合まで増えると見込まれています。



(単位：人)

年	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025	2030	2035	2040
総人口	89,323	83,214	75,458	68,195	59,840	53,135	46,452	40,264	34,490
65歳以上	28,579	29,738	29,669	30,546	29,707	27,425	24,630	21,707	19,040
前期高齢者	16,138	14,328	12,354	13,234	13,062	10,299	8,082	6,546	5,957
後期高齢者	12,441	15,410	17,315	17,312	16,645	17,126	16,548	15,161	13,083
後期高齢化率	13.9%	18.5%	23.0%	25.4%	27.8%	32.2%	35.6%	37.7%	37.9%

金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想

～地域力で高齢者の暮らしを支え合うまち金沢を目指して～

平成 26 年 3 月

金 沢 市

I 基本方針

1 急速な高齢化への対応

我が国は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行している。65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えているが、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成24年1月）の出生中位・死亡中位推計結果によれば、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されている。

本市の平成25年10月現在の総人口は451,898人となっており、そのうち65歳以上人口は105,340人（人口の23.3%）、75歳以上人口は49,935人（人口の11%）となっている。「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月）によれば、今後人口が徐々に減少する一方、65歳以上人口が増加し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、65歳以上の人口は129,805人（人口の28.6%）、とりわけ75歳以上の人口は78,252人（人口の17.3%）と大幅に増加する見込みである。

高齢化の進行には大きな地域差があるが、概括的にいえば、都市部では人口が横ばいで75歳以上人口が急増する一方、町村部では75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する傾向にある。主要都市の高齢化の進行状況と比較すると、本市の高齢化は、全体としてみれば全国平均よりやや緩やかに進行するものの、2010年から2025年の間に75歳以上人口が1.6倍近くに増加するなど、その動きは都市部のそれと比較的近いものであるといえる。日本海側の拠点都市である本市は、こうした「都市型」の高齢化に向き合っていかななくてはならない。

高齢化の進行状況(2010～2025年)

65歳以上人口

	埼玉県	千葉県	神奈川県	金沢市	愛知県	東京都	大阪府	～	鹿児島県	山形県	全国
2010年 高齢化率	147.0万人 20.4%	133.9万人 21.5%	183.0万人 20.2%	9.8万人 21.2%	150.6万人 20.3%	267.9万人 20.4%	198.5万人 22.4%		45.2万人 26.5%	32.3万人 27.6%	2948.4万人 23.0%
2025年 高齢化率 ()は倍率	198.2万人 28.4% (1.35倍)	179.8万人 30.0% (1.34倍)	244.8万人 27.2% (1.34倍)	13.0万人 28.6% (1.33倍)	194.3万人 26.4% (1.29倍)	333.2万人 25.2% (1.24倍)	245.7万人 29.2% (1.24倍)		52.3万人 34.4% (1.16倍)	35.9万人 35.7% (1.11倍)	3657.3万人 30.3% (1.24倍)

75歳以上人口

	埼玉県	千葉県	神奈川県	大阪府	愛知県	東京都	金沢市	～	鹿児島県	山形県	全国
2010年 人口比	58.9万人 8.2%	56.3万人 9.1%	79.4万人 8.8%	84.3万人 9.5%	66.0万人 8.9%	123.4万人 9.4%	4.9万人 10.5%		25.4万人 14.9%	18.1万人 15.5%	1419.4万人 11.1%
2025年 人口比 ()は倍率	117.7万人 16.8% (2.00倍)	108.2万人 18.1% (1.92倍)	148.5万人 16.5% (1.87倍)	152.8万人 18.2% (1.81倍)	116.6万人 15.9% (1.77倍)	197.7万人 15.0% (1.60倍)	7.8万人 17.3% (1.59倍)		29.5万人 19.4% (1.16倍)	20.7万人 20.6% (1.14倍)	2178.6万人 18.1% (1.53倍)

(資料)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)出生中位(死亡中位)推計
2010年の値は総務省統計局「平成22年国勢調査による基準人口」(国籍・年齢「不詳人口」を按分補正した人口)による。

2 在宅医療の提供体制

高齢化の進行により、長期にわたる療養や介護を必要とする慢性疾患患者の増加が見込まれる中で、急性期医療からの早期かつ円滑な在宅への復帰を可能とする体制整備や在宅サービスの充実、在宅等での看取りの体制強化、在宅医療に関わるスタッフの確保など、地域包括ケアシステムの重要な構成要素である在宅医療の提供体制の充実をどのように図るかが課題となっている。

<2025年までに実現すべき将来像>

高齢者の入院医療において急性期から回復期での十分な治療・リハビリテーションを受け、病院と診療所との機能分化と連携により退院後の在宅復帰・在宅療養の支援体制が整っている。

また、医療的ニーズのある在宅療養高齢者の状態急変時等の医療機関への受入れ体制や介護・看護をする家族等のレスパイトケア体制の整備等により、地域における24時間365日の支援体制が構築されている。

1 市民の在宅医療に関する理解を深めるための環境づくり

「終末期医療に関する調査（厚生労働省 平成20年3月）」によれば、60%以上の国民が条件が整えば「自宅で療養したい」と希望しているものの、自宅で最期まで療養するには「家族の負担」や「症状が急変したときの対応」などに不安を感じているという結果が出ている。

在宅医療連携拠点の活動や在宅療養支援診療所数の増加など、在宅医療を支える体制は整いつつあることから、在宅医療を理解して選択することができる情報を市民に提供することで在宅医療を普及していくとともに、訪問診療や健康管理など在宅医療の中心を担う自分のかかりつけ医を持つことの周知・啓発が求められる。

（施策の方向性）

（1）市民への在宅医療の周知【短期的取組】

「病気になったら治るまで入院が必要」という根強い意識が、結果として在宅での療養という選択を難しくしていることから、退院後の在宅での療養や看取り等について市民がイメージを持ち、「自宅で療養する」ことを選択肢とすることができるよう、在宅医療連携拠点を中心に、本市や金沢市医師会、金沢市歯科医師会等と連携して、フォーラムの開催やパンフレットの発行等による幅広い周知活動を行う。

（2）かかりつけ医を持つことの周知・啓発【短期的取組】

在宅での療養には「かかりつけ医」の存在が不可欠であり、また地域における医療機能の分化には、まず患者の医療機関への「かかり方」が重要

3 在宅医療・介護の連携の推進

「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務の実態に関する調査報告書（平成21年度老人保健健康増進等事業）」では、医師との連携に困難を感じる介護支援専門員が約5割いるとの調査結果が出ており、介護側からの医療への連携はハードルが高く、進みにくいという実態がある。

そのため、事例検討等によって、医療福祉従事者の交流の機会を確保し、相互の専門性等を理解することによって、地域内の「顔の見える関係」を構築するとともに、地域における介護・医療等に関する社会資源にどのようなものがあるか、関係者間で共有する取組などが求められる。

本市においては、現在、「いしかわ921在宅ネットワーク」、「金沢元町在宅医療を考える会」、「りくつなケアネット金澤」の3つの在宅医療連携拠点において、在宅医療の推進に向けた多職種参加のワークショップ等が定期的に行われている。また、地域包括支援センターでは、必要に応じて担当区域内の社会資源のリスト等を作成するなどの取組が行われている。

また、本市では、介護保険事業所の指定基準条例において多職種連携に係る教育機会の確保を当該事業所に義務付けており、平成25年度に「多職種連携研修ガイドライン」を策定し、研修を開始したところである。

<2025年までに実現すべき将来像>

医療と介護の機能分化と連携が進み、入院医療において高齢者は急性期から回復期での十分な治療・リハビリテーションを受けることができ、退院後の在宅復帰に支援が必要なケースについては、退院時カンファレンスが開催され、情報共有が徹底している。

在宅生活支援が困難なケースについては、地域包括支援センターを中心として医療・介護の専門職、民生委員、本人、家族等が参加する地域ケア会議において、チームケアによる支援メニューが検討され、ケアプランに反映される。

これにより、退院後の在宅生活を本人も家族も安心してスタートできるようになっている。

1 医療・介護従事者における多職種連携の推進

在宅医療連携拠点が中心となって開催している、「顔の見える関係」づくりを行う研修等の「場」について、現在の活動を活かしながら、具体的な圏域設定により市内全域への面的な展開を図り、多職種連携を一層推進していく必要がある。とりわけ、こうした活動への参加に消極的な医療機関や介護保険事業所等に対する適切なフォローアップが行われるような仕組みづくりが必要である。

野々市市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
(2021(令和3)年度～2023(令和5)年度計画)

生きがいプラン21

～ 住み慣れた地域で
いつまでも暮らすために ～

素 案

2021(令和3)年1月

野 々 市 市

第4節 在宅医療の推進・介護との連携強化

施策目標

住み慣れた地域での生活を長く続けられるよう、切れ目のない在宅医療と介護を提供できる体制作りを行うとともに、「共生」と「予防」を両輪とした総合的な認知症対策を推進します。

重点施策

- ・医療・介護関係者の相互理解と連携に必要な機会を確保していきます。
- ・在宅医療や認知症に関する理解促進を図ります。
- ・認知症高齢者やその家族が安心して過ごせるよう、地域の見守り体制を強化していきます。
- ・リハビリテーションサービス提供体制の構築に向けて、関係機関と連携していきます。

1 在宅医療・介護連携の推進

展開エリア	第1層：野々市市全体	第2層：中学校区単位（2地区）
	第3層：公民館単位（4地区）	第4層：町内会単位（54地区）

（1）地域の医療・福祉資源の把握・情報提供

在宅医療を担う医療機関や薬局、介護サービス事業所等の情報について定期的に更新し、在宅医療・介護関係者に情報を提供します。

（2）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

在宅医療や介護サービス提供施設の関係者により協議会を開催し、連携に関する課題の抽出や、その課題に対する解決策を検討します。また、必要に応じて県や関係機関と連携を図ります。

（3）在宅医療・介護連携に対する相談受付

在宅医療・介護連携支援センターについて周知を強化するとともに、医療・介護関係者への相談支援を行っていきます。

出たデータ

在宅医療・介護連携に関する医療機関からの相談内容より

=相談内容=

- ・退院支援（状態に応じたサービス調整）
- ・通院患者に医療以外の支援が必要になった
- ・家族の支援が必要だがどうしたらいいか

（4）在宅医療・介護サービスの情報共有の支援

高齢者の入退院等が円滑に行われ、退院後も安心して過ごせるよう、医療・介護関係者間で必要な情報が共有できる仕組みを構築します。

（５）在宅医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者がそれぞれの分野について知識等を習得する機会を提供します。また、多職種連携について考える事例検討会等を開催します。

（６）地域住民への普及啓発

高齢者が在宅での療養が必要になったときに必要な医療や介護を選択できるよう、パンフレットや講演会等を通じて理解促進を図ります。また、人生の最終段階における医療や介護について考えることができるよう取り組みます。

２ リハビリテーションサービス提供体制の構築

展開エリア	第１層：野々市市全体	第２層：中学校区単位（２地区）
	第３層：公民館単位（４地区）	第４層：町内会単位（５４地区）

（１）計画的なサービス提供体制の構築

要介護（支援）認定者がリハビリテーションの必要に応じてリハビリテーションサービスを受けられるよう、サービスを計画的に提供できる体制を目指し、本市の実情に応じた計画を立てるため、関係機関への情報収集を行います。

取り組み内容	指標	実績値			計画値		
		2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2) (見込み)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
市内リハビリテーション専門職との連携会議開催	開催回数 (回)	0	0	0	1	2	2

（２）地域リハビリテーションの推進

リハビリテーション専門職が地域ケア会議に参加することで在宅や地域での生活を継続するための方法の指導、助言をすることにより、ケアマネジメントの充実を図ります。また、通所や訪問、地域サロン等へもリハビリテーション専門職が関与し、自立支援や介護予防、重症化予防の取組をサポートします。

３ 総合的な認知症施策の推進

展開エリア	第１層：野々市市全体	第２層：中学校区単位（２地区）
	第３層：公民館単位（４地区）	第４層：町内会単位（５４地区）

（１）認知症に関する普及啓発

認知症サポーター養成講座等を通して、認知症に対する理解を深めるとともに、認知症に関する相談窓口を広報、チラシ、ホームページ等により周知し、認知度の向上に努めます。また、関係課と連携し、認知症の発症要因のひとつである糖尿病や高血圧等の生活習慣病予防に取り組みます。

取り組み 内容	指標	実績値			計画値		
		2018 年度 (平成 30)	2019 年度 (令和元)	2020 年度 (令和2) (見込み)	2021 年度 (令和3)	2022 年度 (令和4)	2023 年度 (令和5)
認知症サポ ーター数	サポーター数 (延人数)	4,541	4,670	4,900	5,000	5,300	5,600
認知症サポ ーター養成講座	開催回数 (回)	13	6	10	10	15	15

(2) 認知症ケアの向上

認知症の人に関わる様々な職種や関係機関に対し、認知症に関する研修を行い認知症ケアの向上を図ります。

また、認知症の人やその家族に対しては認知症ケアパスの普及・啓発に努めるほか、認知症に関する情報を共有できる場の提供等に取り組みます。

用語) 認知症ケアパス：認知症の状態に応じて、どのような医療や介護サービスなどが利用できるか等の情報をまとめたもの。

(3) 認知症支援体制の充実

地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が認知症に関する相談支援を行い、必要に応じて医療機関、介護サービス及び地域の関係機関などにつなげます。

また、専門機関に設置した認知症初期集中支援チームについては、認知症が疑われる方やその家族に対し、家族サポート等の初期支援を包括的、集中的に行います。

(4) 認知症高齢者の見守り対策

判断力・記憶力の低下により行方不明になるおそれのある高齢者に対して、高齢者見守り SOS ネットワーク事業や、地域での早期発見と声かけの訓練等により、地域の見守り体制を構築します。また、県や近隣自治体と連携し、行方不明者が出た場合に早期発見・保護につながるよう連絡体制の充実を図ります。

出たデータ

日常生活圏域ニーズ調査の結果より

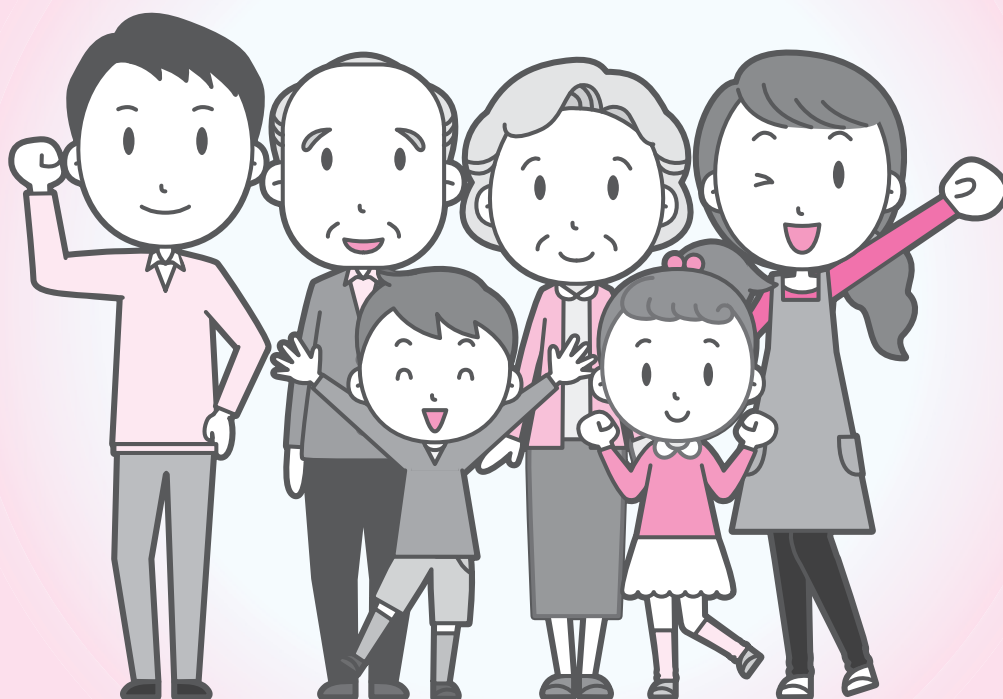
Q 物忘れが多いと感じますか？

年齢区分別では、“後期高齢者”で「はい」が 52%となっており、“前期高齢者”と比べて 4 ポイント高い。

高齢者見守り SOS ネットワーク協力機関の目印



高齢者が健康で 生きがいを持ち 安心して暮らせる地域づくり



七尾市あったかプラン

七尾市老人福祉計画
第8期七尾市介護保険事業計画

[令和3年度～令和5年度]

令和3年3月

七尾市

エ. 地域リハビリテーション活動支援事業

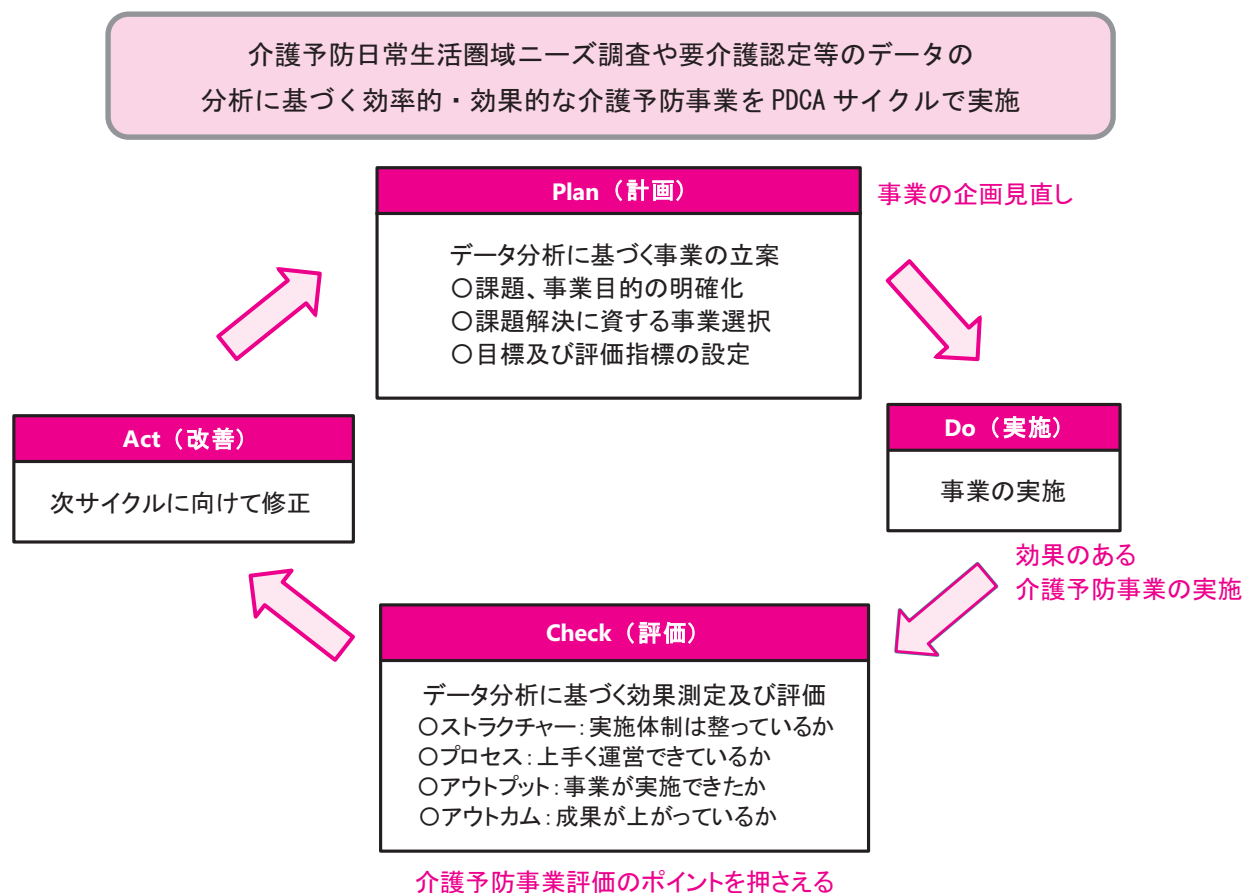
地域における介護予防や自立支援に向けた取り組みを強化するために、通いの場や地域ケア会議において、高齢者の身体機能、生活機能などの維持・向上に精通しているリハビリテーション専門職（理学療法士等）の関与を促進していきます。

	見込み	目 標 値		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域 リ ハ ビ リ 教 室	3会場	5会場	10会場	10会場
通 い の 場 リ ー ダ ー 育 成 研 修 (再掲)	中止	2回 60人	2回 60人	2回 60人
個 別 地 域 ケ ア 会 議 (自 立 支 援 型)	16回	18回	18回	18回

オ. 一般介護予防事業評価事業

介護予防の取組を進めるに当たっては、事業評価とそれに基づく改善を図っていくことが重要であり、PDCAサイクルに沿って、年度ごとに一般介護予防事業に関する目標値の達成状況の検証など事業評価を行います。

PDCAサイクルに沿った事業評価の実施



	見込み	目 標 値		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
高齢者の幸福度の平均点数（10点中）	7.1 点	—	—	7.5 点
要介護2以上の年齢調整後認定率	10.4%	10.7%	10.9%	11.1%
通いの場参加者の体力等の維持※	60%	60%	60%	60%

※運動を週1回行っている通いの場の参加者に握力測定を行い、握力をレベル1（最小値）～5（最大値）までの5段階で評価し、前回または前年度の測定結果と比べて、レベルが同じまたは改善している者の割合

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

高齢期は、複数の慢性疾患に加え、加齢に伴う身体的・心理的な機能低下、社会的なつながりの低下（フレイル）といった、複合的で個人差がある多様な問題を抱えやすい状況となります。後期高齢者ではさらに顕著となることから、高齢者の心身の多様な問題に対応し、きめ細やかな支援を行うため、壮年期からの取組みと連続性を図り、予防を重視した後期高齢者に対する保健事業（疾病予防・重症化予防）と介護予防の一体的な事業の実施を推進するための検討を進めていきます。

③リハビリテーションサービス提供体制の充実

要支援・要介護認定者が、リハビリテーションにより心身機能等の向上または維持を図り、日常生活の活動能力を高めることで、地域や家庭への社会参加を可能にします。

そのため、必要性に応じてリハビリテーションサービスを利用できるよう、地域における現状や課題の把握に努めて、目指すべき提供体制を検討します。

第2次 輪島市地域福祉計画

計画期間(平成29年度→平成33年度)



平成29年3月
石川県 輪島市

1 計画の推進体制

地域ニーズが多様化していくなかで、介護や障害、子育て、保健、生活困窮といった分野の垣根を越えた総合的な支援を展開していくため、生活の課題を把握し、市関係部局との連携体制を構築するとともに、地域の関係機関とのネットワーク強化に努めていきます。

(1) 福祉保健の各分野の目標

輪島市地域福祉計画推進のため、福祉・保健の各分野の目標を定め、地域福祉の推進に努めます。

高齢者分野

高齢者自らが介護予防活動に参加し、生きがいをもって生活するために、高齢者の在宅生活を支える担い手を増やし、高齢者が地域で安心して暮らせるための「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

- 在宅サービス・居住系サービスの強化

介護人材の独自育成や地域支援ボランティアの育成に努め、地域での高齢者支援活動を推進します。

- 介護予防・重症化予防

介護や医療の関係機関との連携や住民主体による介護予防活動をより一層推進し、リハビリテーションの視点を取り入れた効果的な介護予防事業を推進していきます。

- 認知症対応の推進

認知症施策総合推進事業の継続により、支援体制の拡大、充実を推進していきます。

- 医療と介護の連携強化

「わじまケアネット連絡協議会」を中心に、介護・医療等の関係機関のネットワークを強化し、継続的・包括的なケアの提供を目指します。

医療圏

一次医療圏

地域住民の身近なところで、通常の病気や外傷の治療に対する医療を提供します。市町村の行政区画を対象とします。

二次医療圏

専門的な外来診療や一般的な入院医療を提供します。4つの広域的な区域を対象とします。

三次医療圏

特殊な医療機器を必要とする医療や臓器移植、特に専門性の高い救急医療など高度で専門的な医療を提供します。富山県全域を対象とします。

二次医療圏	構成市町村
新 川	魚津市、黒部市、入善町、朝日町
富 山	富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町
高 岡	高岡市、氷見市、射水市
砺 波	砺波市、小矢部市、南砺市



富山県医療計画

概要版

基準病床数

病床の種類	改定年月	医療圏	基準病床数
療養病床 及び 一般病床	2018 (平成30) 年3月	新 川	1,228床
		富 山	5,509床
		高 岡	2,793床
		砺 波	1,461床
		合 計	10,991床
精 神 病 床		県 全 域	2,684床
結 核 病 床		県 全 域	58床
感染症病床		県 全 域	22床

※基準病床数は、病床の適正配置を図り、適切な入院体制を確保するため、医療圏内における病床整備の目標と規制基準を示すものです。

※療養病床及び一般病床については二次医療圏ごとに、精神病床、結核病床、感染症病床については県全域において定めることとされています。

2018 (平成30) 年3月



〈新〉富山県医療計画(2018(平成30)年3月改定版)の概要

1 計画の性質

- ①富山県総合計画「元気とやま創造計画」の「安心とやま」を医療・保健の面から推進するための計画
- ②富山県における医療施策の基本的な方向を明らかにする総合的な計画
- ③医療法に基づく法定計画

2 基本目標

患者本位の良質かつ適切な医療提供体制の確保

3 計画期間

2018(平成30)年度～2023年度

4 改定のポイント

- ①5疾病・5事業及び在宅医療に係る指標による政策循環(PDCAサイクル)の仕組みの強化
- ②地域医療構想を踏まえた急性期から回復期、慢性期までを含めた一体的な医療提供体制の構築
- ③同時期に改定するがん対策推進計画、介護保険事業支援計画、医療費適正化計画等の他の計画との整合性の確保



福井県高齢者福祉計画 福井県介護保険事業支援計画

令和3年3月
福 井 県

重点項目Ⅱ

高齢者の健康増進・介護予防の強化

人生100年時代を迎えるにあたり、高齢者一人ひとりが地域社会とのつながりを維持するとともに、老いによる虚弱（フレイル）の兆候に早期に気づき、「栄養」「運動」「社会参加」という生活習慣を通じて、虚弱（フレイル）を防止し、またそのスピードを遅らせることが重要です。

- 全県下17市町（全国初）に広がったフレイルチェックの体制を有効に活用し、チェックした結果を基に生活習慣の改善を促し「健康長寿ふくい」の維持を図ります。
- 介護が必要になっても「健康であること」の実現に向けて、リハビリテーション専門職が参画する地域ケア会議等を通じた自立支援型の介護予防を推進します。
- 介護予防と併せて、手軽なスポーツを通じた運動習慣の継続や筋力の維持増進、低栄養状態の改善、口腔機能の低下予防など、多岐にわたる健康づくり施策についても推進します。

具体的施策1 フレイル予防の推進・普及

(1) フレイルチェック体制の拡充

- ・フレイルとは介護が必要となる一歩手前の、高齢化により筋力や認知機能など心身の活力が低下した虚弱状態のことです。早期にフレイルの兆候に気づき、生活習慣を見直すことで、状態の悪化を防いだり、健康な状態に戻したりすることができます。
- ・県では、東京大学高齢社会総合研究機構とジェロントロジー（総合長寿学）共同研究により、東京大学が開発したフレイル予防プログラムを活用し、市町との連携によりフレイルチェックを全17市町に広げてきました。
- ・今後は、全市町に広がったフレイルチェックの体制を有効に活用し、各市町で実施している健康体操などの介護予防の取組みと組み合わせることにより、高齢者が自らの健康状態を把握して自発的な健康づくりを促進していきます。

フレイル予防の全県展開

東京大学のフレイル予防プログラムにより、半年に一度、「栄養」「運動」「社会参加」の3つの観点からフレイルの兆候を自ら確認する「フレイルチェック」を通じて自発的なフレイル予防活動を推進します。今後、全県展開強みを生かし、市町や圏域を超えたフレイルサポーター交流会・フレイルトレーナー交流会の開催により関係機関の連携や情報交換を通じ、フレイル予防の全県展開をさらに推進していきます。

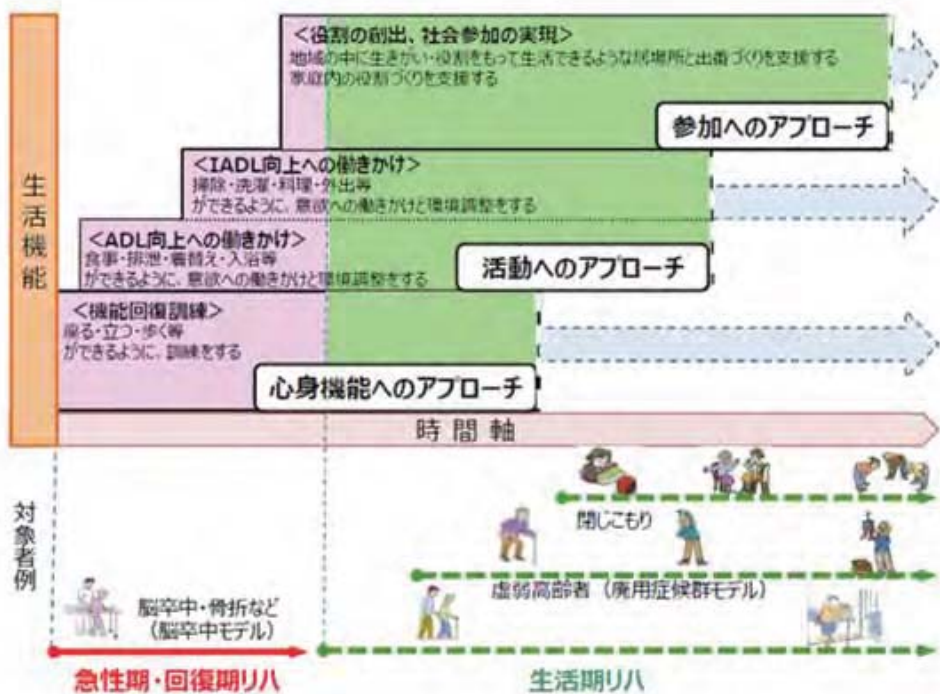


- (2) コロナ禍における「ふくい型フレイル予防プログラム」の普及
- ・新型コロナウイルス感染防止を図りつつ、新しい生活様式の中においても安心してフレイルチェックを行えるよう、東京大学高齢社会総合研究機構やフレイルトレーナーとともにコロナ禍での「ふくい型フレイル予防プログラム」の方法を新たに開発し、県内に普及していきます。
- (3) 保健事業と介護予防の一体的実施によるフレイル予防の推進
- ・高齢者の保健事業については、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と切れ目なく実施していく必要があるため、市町と後期高齢者医療広域連合における一体的な取組みを支援していきます。
 - ・フレイルのおそれのある高齢者に対しては、通いの場への参加促進や生活支援サービスへの接続などにより、介護予防につなげていきます。

具体的施策2 リハビリテーションによる介護予防の推進

- (1) リハビリテーション提供体制の強化
- ・高齢者および要介護認定者が今後さらに増加することが見込まれることから、高齢者の介護予防・自立支援を進めるためにリハビリテーション専門職による関与が不可欠です。
 - ・要介護（支援）者がリハビリテーションの必要性に応じてリハビリテーションサービスが利用できるよう、医療保険で実施する急性期・回復期のリハビリテーションから、介護保険で実施する生活期リハビリテーションへ、切れ目ないサービス提供体制の構築を進めていきます。
 - ・生活期リハビリテーションでは、単に身体機能の改善だけを目指すのではなく、高齢者が有する能力を最大限に発揮できるよう、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけ、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促していきます。
 - ・地域支援事業の「地域リハビリテーション活動支援事業」を活用するなどし、住民の通いの場や地域ケア会議等へのリハビリテーション専門職の関与を促進します。
 - ・県が設置する福井県リハビリテーション支援センターと職能団体である福井県リハビリテーション専門職協議会が、医療機関や介護保険施設等と連携して研修を実施し、地域で暮らす高齢者の生活機能の維持や向上について指導・助言を行うリハビリテーション専門職を育成します。
 - ・市町の地域支援事業にリハビリテーション専門職が幅広く関与できるよう、専門職の派遣に協力する医療機関、事業所等の情報を市町に提供します。
 - ・本県の特徴として、事業所数やリハビリ専門職従事者数は全国値より高いが、医師やリハビリ専門職との連携が必要な加算の取得率は低いため、通所・訪問系サービス事業所において、生活機能の向上を目指すリハビリテーションが実施されるよう、リハビリテーション専門職や医師の関与による個別リハビリテーションマネジメントの充実を推進していきます。

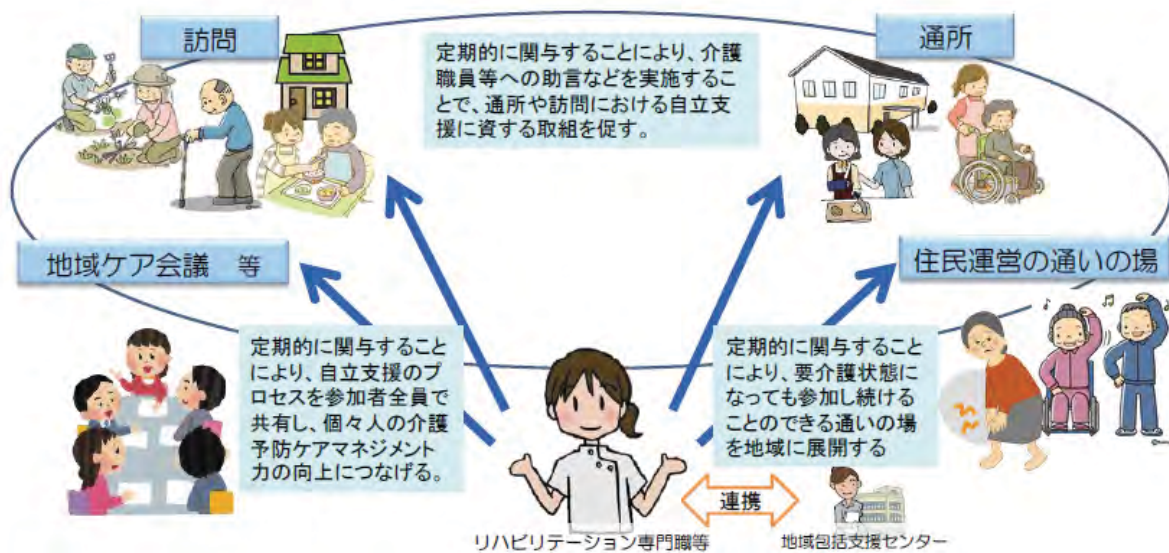
高齢者リハビリテーションのイメージ



資料：厚生労働省

地域リハビリテーション活動支援事業の概要

○ 地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。



リハビリテーション専門職等は、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援する。

資料：厚生労働省

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」
設置に関するアンケート調査（施設アンケート）

報 告 書

令和4年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

1 アンケート調査概要	1
2 アンケート集計結果	2
3 北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の採用者数について	11
アンケート調査票	13

1 アンケート調査概要

（１）アンケート調査の目的

北陸大学では、令和５年（2023年）４月の開設に向けて「医療保健学部理学療法学科（仮称）」の設置の準備を進めており、新学科卒業生の採用意向等を把握するために、病院及び医療関係施設等を対象にアンケート調査を実施した。

（２）実施アンケート

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査

（３）調査対象

主に北陸地域（石川県、富山県、福井県）に所在する病院及び医療関係施設等を選定し、アンケート調査を実施した。

（４）調査実施

令和３年１０月～令和４年１月に調査を実施した。

（５）調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布を大学が行い、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

（６）回収状況

回収票数 366 票

回収日	回収数	回収日	回収数	回収日	回収数	回収日	回収数	回収日	回収数
10.15	1	10.26	1	11.05	3	11.25	1	12.27	8
10.18	170	10.27	9	11.08	3	11.29	1	1.07	2
10.19	37	10.28	8	11.10	1	11.30	1	1.11	1
10.20	27	10.29	3	11.11	1	12.03	1	1.13	2
10.21	29	11.01	6	11.12	3	12.06	2	1.17	2
10.22	13	11.02	3	11.19	1	12.13	1		
10.25	20	11.04	2	11.22	1	12.17	2	計	366

2 アンケート集計結果

〔有効回答票：366 票〕

① 所在地（問 1）

回答機関・施設の所在地別内訳は、「石川県」が 42.6%（156 件）、「福井県」が 28.7%（105 件）、「富山県」が 26.5%（97 件）、「その他」2.2%（8 件）である。

	1 石川県	2 富山県	3 福井県	4 その他	合計
回答者数（件）	156	97	105	8	366
回答割合（%）	42.6	26.5	28.7	2.2	100.0

（「4 その他」の回答）

東京都（4 件）	全国（2 件）	東京（全国）（1 件）
----------	---------	-------------

② 主たる種別（問 2）

回答機関・施設の主たる種別については、「病院・診療所」が 36.1%（132 件）、「特別養護老人ホーム」が 13.4%（49 件）、「訪問看護ステーション」が 10.7%（39 件）、「介護老人保健施設」が 8.5%（31 件）、「通所・訪問リハビリテーション」が 7.4%（27 件）である。

	1 病院・診療所	2 介護老人保健施設	3 訪問看護ステーション	4 通所・訪問リハビリテーション	5 特別養護老人ホーム	6 その他	不明	合計
回答者数（件）	132	31	39	27	49	86	2	366
回答割合（%）	36.1	8.5	10.7	7.4	13.4	23.5	0.5	100.0

（「6 その他」の回答）

地域包括支援センター（12 件）	行政高齢者支援センター	白山市地域包括支援センター
通所介護（6 件）	市役所	福祉用具貸与、居宅介護支援事業
地域密着型通所介護（3 件）	舟橋村役場	福祉用具貸与・販売
包括支援センター（3 件）	商社	福祉用具貸与及び販売事業所
デイサービス（以下 2 件）	介護・医療コンサルティング	福祉用具貸与事業所
介護医療院	企業	福祉用具貸与事務所
社会福祉協議会	医療機器メーカー	福祉用具店
住宅型有料老人ホーム	接骨院	福祉用具販売、貸与
福祉用具貸与	障害者就労支援センター	訪問介護事業、通所介護事業
福祉用具貸与、販売	地域包括	有料老人ホーム
3、4（以下 1 件）	地域包括支援センター（市直営）	養護老人ホーム
サービス付き高齢者向け住宅	地方自治体：地域包括支援センター	輪島市地域包括支援センター
ショートステイ・デイサービス	町社会福祉協議会	リハビリ機器メーカー、商社
卸売、商社	通所介護（デイサービス）	プロスポーツクラブ
介護付有料老人ホーム	通所介護、機能訓練専門	サービス業
介護福祉用具貸与等事業所	通所介護施設	スポーツチーム
共生型通所介護	認知症対応型共同生活介護	農業協同組合
居宅介護事業、居宅、DS、ヘルパー、福祉用具貸与		

③ 過去3か年（2019年度、2020年度、2021年度）の理学療法士の採用実績（問3）

2019年度から2021年度の3か年における理学療法士の採用状況は、「0人」の機関・施設が毎年8割弱を占めており、「1人」の採用が毎年1割程度、「2人」の採用は毎年3%程度、「3人」の採用は毎年1%台となっている。また、「5人以上」の採用が毎年1~2%ある。理学療法士を採用する機関・施設の合計（「1人」から「5人以上」の合計）は、2019年度は17.2%（63件）、2020年度は18.5%（68件）、2021年度は17.8%（65件）であり、毎年17~18%の機関・施設において理学療法士の採用が行われている。

〔理学療法士採用者数〕

		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	無回答	合計
2019年度	回答者数(件)	282	36	13	6	1	7	1	20	366
	回答割合(%)	77.0	9.8	3.6	1.6	0.3	1.9	0.3	5.5	100.0
2020年度	回答者数(件)	279	43	11	7	2	5	0	19	366
	回答割合(%)	76.2	11.7	3.0	1.9	0.5	1.4	0.0	5.2	100.0
2021年度	回答者数(件)	292	38	11	4	4	8	0	9	366
	回答割合(%)	79.8	10.4	3.0	1.1	1.1	2.2	0.0	2.5	100.0

「5人以上」の内訳 2019年度：5人4件、6人2件、10人1件
 2020年度：5人1件、6人1件、7人1件、10人1件、95人1件
 2021年度：5人3件、7人2件、8人1件、10人1件、127人1件

次に、4年制大学を卒業した理学療法士の採用者数をみると、「0人」が8割以上であり、「1人」は2019年度4.6%（17件）、2020年度8.7%（32件）、2021年度6.3（23件）、「2人」は2019年度1.1%（4件）、2020年度0.8%（3件）、2021年度2.2%（8件）などとなっている。また、「5人以上」を採用している機関・施設も毎年あり、2019年度は0.8%（5件）、2020年度は0.3%（1件）、2021年度は0.5%（2件）である。4年制大学を卒業した理学療法士を採用する機関・施設の合計（「1人」から「5人以上」の合計）は、2019年度は7.1%（26件）、2020年度は10.6%（39件）、2021年度は10.9%（40件）であり、最近3か年は微増傾向を示している。

〔うち4年制大学卒業者数〕

		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	無回答	合計
2019年度	回答者数(件)	311	17	4	1	1	3	2	27	366
	回答割合(%)	85.0	4.6	1.1	0.3	0.3	0.8	0.5	7.4	100.0
2020年度	回答者数(件)	299	32	3	3	0	1	1	27	366
	回答割合(%)	81.7	8.7	0.8	0.8	0.0	0.3	0.3	7.4	100.0
2021年度	回答者数(件)	308	23	8	6	1	2	0	18	366
	回答割合(%)	84.2	6.3	2.2	1.6	0.3	0.5	0.0	4.9	100.0

「5人以上」の内訳 2019年度：5人3件
 2020年度：7人1件
 2021年度：5人1件、7人1件

④ 現在の理学療法士の充足状況（問4）

現在の理学療法士の充足状況については、「大きく不足している」が 8.5%（31 件）、「やや不足している」が 22.7%（83 件）であり、合計すると 31.2%（114 件）の機関・施設において理学療法士が不足している。一方、「充足している」は 32.0%（117 件）であることから、3 分の 1 の機関・施設は不足、3 分の 1 の機関・施設は充足、3 分の 1 の機関・施設はその他という状況となっている。

	1 大きく不足 している	2 やや不足 している	3 充 足 している	4 その他	不明	合計
回答者数（件）	31	83	117	128	7	366
回答割合（%）	8.5	22.7	32.0	35.0	1.9	100.0

（「4 その他」の回答）

採用していない。（6 件）	診療科なし。
必要ない。（4 件）	診療所のためいません。
募集していない。（2 件）	専門職として配置されたらありがたいと思う。
募集なし。（2 件）	当院では必要性なし。
2023 年度より採用予定。（以下 1 件）	当院には不要。
R4 新卒内定済	特養なので。
いない。	特養は OT1 名配置で充足。
グループ法人（医療法人）より出向。	内科である。
コロナのためリハビリ中止中。	内科なので必要なし。
コロナの影響による患者数減から回復すれば若干不足となる可能性あり。	内科の診療所なので、そもそも採用していない。
どちらでもよい。	配置要件になく採用予定なし。
なし。	必須ではないが、1 名程度いると良い。
委託	必須の職種ではないが、できれば充足したい。
医療機関より月 2 回派遣	必要ありません。
外部に依頼。	必要ではない。
希望者があれば採用したい。	必要としていない
機関として PT の採用はない。	必要としていない。
現在は求めている。	必要としない。
現在看護師や柔道整復師がいるので、充足しているが、今後、必要になるかもしれない。	必要とする部署がない。
今のところ当院の特性上、理学療法士は採用する必要を感じておりません。	必要ない。理学療法士がいればそれにこしたことはないです。
今のところ配置予定はないです。	必要な場合は他院へ紹介している。
今現在必要としていない。	必要性がない。
今後必要だと考えている。	必要性は感じる。
採用なし。	不在
採用の必要がない。	不明
採用の予定なし。	不要。
採用はありません。	不要である
採用を考えています。	募集はしていない。
採用実績なし。	包括支援センターなので 3 職種の採用が主。社会福祉士、主任ケアマネ、保健師。
採用予定がありません。	未定
採用予定がない。	理学療法士の配置は不要。
採用予定なし。	理学療法士はいない。採用していない。
採用枠がない。	理学療法士は採用ありません。
需要が多くなれば採用したい。	理学療法士は必要としない。
重症患者が多く、どちらかというと看護師が不足である。	理学療法士の採用枠なし。
将来的に訪問リハ計画あるものの全く未定。	訓練は看護師が対応している。
職員配置（法的）では不要。	2022 年 5 月にオープン

⑤ 2022 年度の理学療法士採用計画（問 5）

2022 年度の理学療法士の採用計画を尋ねたところ、「1 人」が 12.6%（46 件）、「2 人」が 6.0%（22 件）、「3 人」が 0.8%（3 件）、「4 人」が 0.5%（2 件）、「5 人以上」が 1.6%（6 件）であり、合計すると 21.5%（79 件）の機関・施設が理学療法士の採用を計画している。2019 年度から 2021 年度の採用実績では、毎年 17～18%の機関・施設で採用があったことから、2022 年度の採用計画は、それを上回る機関・施設が理学療法士の採用を計画していることになる。

〔理学療法士採用計画〕

	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	無回答	合計
回答者数（件）	247	46	22	3	2	6	38	2	366
回答割合（%）	67.5	12.6	6.0	0.8	0.5	1.6	10.4	0.5	100.0

「5人以上」の内訳 5人2件、12人1件、15人2件、100人1件

2022 年度の理学療法士採用計画における 4 年制大学卒業者の採用計画をみると、「1 人」が 7.7%（28 件）、「2 人」が 2.2%（8 件）、「3 人」と「4 人」がそれぞれ 0.3%（1 件）、「5 人以上」が 1.4%（5 件）であり、合計すると 11.9%（43 件）の機関・施設が 4 年制大学卒業の理学療法士の採用を計画している。2019 年度から 2021 年度の 4 年制大学卒業の理学療法士採用実績では、2019 年度は 7.1%（26 件）、2020 年度は 10.6%（39 件）、2020 年度は 10.9%（40 件）の機関・施設で採用があったが、2022 年度の採用計画は、それを上回る機関・施設が 4 年制大学卒の理学療法士の採用を計画しており、微増傾向が続いていると考えられる。

〔うち 4 年制大学卒業者に係る採用計画〕

	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	無回答	合計
回答者数（件）	252	28	8	1	1	5	21	50	366
回答割合（%）	68.9	7.7	2.2	0.3	0.3	1.4	5.7	13.7	100.0

「5人以上」の内訳 5人5件

⑥ 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）設置の必要性（問 6）

北陸大学医療保健学部理学療法学科の設置の必要性については、「とても必要である」が 13.4%（49 件）、「必要である」が 39.1%（143 件）であり、合計すると 52.5%（192 件）の機関・施設が必要性を認める回答をしている。

	1 とても必要 である	2 必要である	3 どちらとも いえない	4 不要である	不明	合計
回答者数（件）	49	143	155	17	2	366
回答割合（%）	13.4	39.1	42.3	4.6	0.5	100.0

⑦ 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）卒業生の採用意向（問7）

北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の採用については、「採用したい」が 9.6%（35 件）、「採用を検討したい」が 34.2%（125 件）であり、合計すると 43.8%（160 件）の機関・施設が採用に関心を示している。

	1 採用したい	2 採用を検討 したい	3 採用は考え ない	4 その他	不明	合計
回答者数（件）	35	125	120	84	2	366
回答割合（%）	9.6	34.2	32.8	23.0	0.5	100.0

（「4 その他」の回答）

未定（4 件）	採用計画がない。
わからない。（3 件）	採用試験に応募があり合格すれば。
当院では不要。（2 件）	施設の状況に応じて検討。
いい人材なら採用したいが、近くに理学療法科のある専門学校がある。（以下 1 件）	自治体直営の地域包括支援センターのため、採用権限がない為。
グループ法人より出向のため直接採用していません。	需要が多くなれば採用考えたい。
こちらで決める事ができません。	人員に不足が生じたとき。
その時の状況による。	人員状況により。
その時の人員の状況。	正社員としては採用しない。
その人による。	退職者が出た場合は検討したい。
会で採用されているので決定権はない。	当院スタッフ欠員時は検討したい。
業務上必要となれば検討したい。	当社の事業に直接の関係がとぼしい。
経験を積んだうえで中途採用は可。	内科なので採用の予定はありません。
欠員が出た時に採用を検討したい。	必要ならば採用したい。
欠員が生じる際に、実務経験者の採用を検討する。	必要になれば。
欠員が生じる際に実務経験者の採用を検討する。	評判や実習の質を参考にして学生のレベルを見極めたい。
現時点では当社に必要な。	病院等での経験を積んだ人材であれば検討したい。
現状充足しているため必要な場合採用したい。	富山県内にも学校があります。
公募による採用選考試験を実施。	富山県内在住者であれば検討。
公務となることから貴校からの採用と限定することはできない。	募集する際は検討したい。
公立病院のため特定の養成施設だけでなく広く募集します。	法人として採用を検討したい。
高齢職員の退職補充。	法人の考え次第。
今のところ考えてはいないが、後々の採用をしたいと考えている。	法人理念に沿う人材あれば採用したい。
今のところ採用予定はありません。	無床内科診療所のみですので採用なし。
今のところ必要性はないが、採用が必要な状況となれば検討するかもしれません。	理学療法士に空きができた時には採用を考えたいと思っている。
今後の人材不足を考えると必要となる。	理学療法士は不要な科です。
採用したいが、経営上無理（併設介護事業所）。	実力による。

※ 問8は、問7で「採用したい」もしくは「採用を検討したい」を選択した回答者の回答。

⑧ 北陸大学医療保健理学療法学科（仮称）卒業生の毎年の採用者数（問8）

北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の採用について、「採用したい」もしくは「採用を検討したい」と回答した機関・施設に対して毎年の採用者数を尋ねたところ、「採用したい」と回答した機関・施設では、「1人」が34.3%（12件）、「2人」が20.0%（7件）、「3人」が17.1%（6件）、「4～5人」が5.7%（2件）、「8人以上」が2.9%（1件）である。

「採用を検討したい」と回答した機関・施設では、「1人」が47.2%（59件）、「2人」が2.4%（3件）、「3人」、「4～5人」、「6～7人」、「8人以上」がいずれも0.8%（1件）となっている。

また、「その他」の回答の具体的内容をみると、「採用したい」と回答した機関・施設では、欠員がいた時や必要があれば採用するとしている。「採用を検討したい」と回答した機関・施設では、その時の状況により採用する、人材が不足していれば採用する、毎年ではないが採用する、などの回答がみられる。

		1 1人	2 2人	3 3人	4 4～5人	5 6～7人	6 8人以上	7 その他	不明	合計
採用したい	(件)	12	7	6	2	0	1	6	1	35
	(%)	34.3	20.0	17.1	5.7	0.0	2.9	17.1	2.9	100.0
採用を検討したい	(件)	59	3	1	1	1	1	59	0	125
	(%)	47.2	2.4	0.8	0.8	0.8	0.8	47.2	0.0	100.0
合 計	(件)	71	10	7	3	1	2	65	1	160
	(%)	44.4	6.3	4.4	1.9	0.6	1.3	40.6	0.6	100.0

（「7 その他」の回答）

「採用したい」と回答した機関・施設の回答

欠員補充。	必要時に採用。
-------	---------

「採用を検討したい」と回答した機関・施設の回答

未定（7件）	新卒者採用が本社の為、人数は不明となります。
0～1（2件）	人事の状況による。
充足状況による。（2件）	数年に1名
不定期（2件）	選考のうえ、人数は変動します。
状況に応じて（2件）	卒業校を選考基準とはしません。
3年に1人。（以下、1件）	適時
その時の状況により（今は0人）。	不足した際、不定期。
その時の状況により。	不足していれば
その時の状況による。	不足時。
その都度検討。	不足時のみ1人。
各年度の募集状況による。	不明
学校単位の採用枠は設けていない。	毎年ではない。
学生さん次第。	毎年ではないが、必要に応じて。
経験のある既卒者の採用を希望しています。	毎年ではないが検討したい。
検討。	毎年ではないが採用したい。
現職数と業務状況に応じて検討。	毎年の採用は必要ない考える。
採用計画による。	毎年採用ではなく隔年採用。
収益によって異なる。	毎年使用ではないが数年ごとに1～2名。
常勤4名のため退職補充となります。	毎年採用は考えていない。その時の不足分。
1人いれば充分なので、退職しなければ採用の必要はない。	

⑨ 自由回答意見（問9）

自由回答意見
老人介護の分野においては、毎日の機能訓練の有無が、その人の健康な身体の維持には不可欠です。当事業所（れんげの郷）は、有料老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、ヘルパーステーション（訪問介護）、居宅支援等の事業所を有しており、機能訓練を実施する場合は、①有料老人ホームについては、外部からの訪問事業所に依頼しています。ただし、利用者が介護保険で使える単位数の限度がありますので、例えば、現在の当施設の利用者の場合は、週に40分2回利用しています。月の利用限度回数の20分24回利用するとした場合は、本人負担月額（20分）293単位×24＝7,032円 施設収益4,688×10.21＝71,796円となります。②ショートステイについては、外部から依頼するには医療として医師の指導書の下に期間限定で行うか、自費で行うしかないと思われます。なお、当施設では、看護師が行っており、加算を取得する予定になっています。③デイサービスについては、デイサービス利用中に他の外部サービスを利用できないので、デイのスタッフの中の有資格者が行うしかないと思われます。当施設では看護師が行っています。④ヘルパーステーションでは特別の認可が必要なので、当面その予定はありません。以上、施設として理学療法士を雇う余地はありますが、経営的に1～2人いれば充分なので、毎年採用する余地はありません。一旦採用されれば、通常40年間勤めることになりますので、採用は順調ならば40年に1回ということになると思います。
何卒、介護分野への人材の輩出をお願いします。
今まで柔整だけで運営していましたが、全国的不足により、PT、OT、STも採用していますが、給料面、書類の多さに学生さんは敬遠される事が多いとお聞きしています。介護現場にも必要になりますのでお薦めいただけたら幸いです。
病院でも地域（在宅）でもこれからさらに活躍される職種だと思います。志高い学生さんたくさん社会で活躍されること期待しています。頑張ってください。
指定規則が変わり、臨床実習指導も、さらに学校側との連携が必要だと感じています。地域包括支援システムの中、国や地方の保健・医療政策についても学生から知ってもらってもいいのではないのでしょうか。
貴学の教育の特色が明確であり県内の他養成校と差別化が図れると思いました。
大学だけあり、最先端の技術、知識を学べると思うが、PTはそもそも対人業務であるため、人間性の向上、倫理、コンプライアンスなどをしっかりと身につけることを望みます。
知識、技術も重要ですが、人としての成長を重視する教育であっていただきたい。
PT、OTは今後益々必要とされます。貴学の今後の発展を祈念申し上げます。
石川県内には学ぶことができる学校があるが、主に金沢周辺に採用、勤務されている人が多い。石川県下の市町、特に過疎にも地域医療・福祉を目指す卒業生や学生が増えることを望む。
就職の実績が確立すれば入学希望者は増えると思う。学生寮と便（暮らしの）の好い所に必要。
今後は地域においても介護予防を目的とした自主活動が推進されます。その中で専門職である理学療法士さんからの指導があればさらなる健康社会の実現に向けて前進していくことと思います。また、地域ケア会議（自立支援個別会議）への参加も期待しています。
包括支援センター内にリハ職が配置になると、介護予防教室や介護予防プラン作成が充実した内容になると思います。国の配置要件（職種）の見直しあれば検討したいです。
石川県ではSTが以前より不足しています。ST学科の併設を考えて頂けると助かります。
理学療法士や作業療法士は、特養を中心としたサービスなので、数人いれば充足するため、定期的な採用は考えていない。また、理学療法士以外に作業療法士等は養成していないのでしょうか？
後発の学校の臨床実習施設の確保は大変と思いますが、是非症例が沢山経験できる施設を確保して、学生に経験を積ませてあげてください。1期1～2名（例）の実習なんてありえないと思いますし、現場は卒業しても症例をみれないということになれば大変迷惑です。
理学療法士の需要は、これからどんどんと高まっていると思います。上記に加えて作業療法士の養成は考えておられないのですか？
デイサービス事業所においてPT、OTは必要である。デイサービスにて以前はPTがおられたが退職された後は採用ができていない。在宅の方からも「PTさんはいるの？」という声も聞かれ、デイサービスにおいても今後は必要と思う。ただ、介護の部分も加わってくれているので大変助かっている。
在宅系は、実践能力がある人材が必要のため、新卒採用はなかなか難しいのが現状です。
この度は開設おめでとうございます。当施設は鯖江市中心部（JR 鯖江駅前）の所にある老健施設です。理学療法士である私が事務長させて頂いています。リハビリ職の採用は不定期です。温かい職場です。機会があればよろしくお願いします。

自由回答意見
石川県内で理学療法士の養成校が少ないので、とても良い取組だと思います。
理学療法士等に関わらず、人柄、性格等を重視する。資格ある者が更に望ましい。
福祉用具店を運営していますが、今後理学療法士が必要になると思います。
リハビリはとても奥深いです。スポーツ選手や一般の人に必要なりハビリと要介護者に必要なりハビリはまったく異なります。その辺を理解し実践できる PT の育成に希望と期待をしたいと思います。
今後の介護保険や予防事業にもよるが、理学療法士が必要となる事業を展開していくことになれば、我々のような特別養護老人ホームも就職の選択の一つになると思う。当施設でも必要となった時には、北陸大学の卒業生が就職していただけたら良いと思う。
地域的なものか分からないが求人を出すと PT はすぐに見つかるが、ST、OT がなかなか見つからない。できれば ST、OT も育てていただけるとありがたい。
地域医療に必要性が高まると思います。当院内科のため採用予定なくて申し訳ありません。
現場からは理学療法士の採用を望む声が大いことは認識しています。介護予防の観点からも今後採用を検討したいと思うので、貴学の健闘を祈ります。
当法人では PT より、OT、ST の学生さん、人材確保に苦勞しております。特に県内での ST 輩出校を期待したいです。
PT のみにとどまらず、セラピスト全般の育成養成が必要と思う。
週 1 回程度で採用を検討してもよいかと考えている。
身体機能が低下している高齢者に対しての運動機能の改善、回復を促す理学療法士は必要不可欠、介護分野で活躍出来る人材を期待しています。
作業療法学科についても新設していただきたい。
ステーションではリハビリを実施していない為、採用はありませんが、在宅での需要は大きいと感じる。
少子高齢化の時代でなおかつ発達障害、フレイルの人口が増加している中、新学科設置にすごく期待している。
専門知識と技術はもちろんのこと、患者様にやさしく接し、信頼を得られるような人間性も磨いて、ご活躍いただきたいと思います。期待しています。
訪問看護ステーションでも理学療法士さんの必要性あり。又デイサービスでも必要です。求人出しても、Hp やデイケア、リハビリデイなど勤務する方が多いです。新卒の方では、一度先輩に教えてもらいながら仕事した方が良いでしょう。
老人にやさしい療法士、老人の日常生活での ADL 向上を目指すリハビリ訓練が出来る療法士が望ましい。
現在作業療法士 1 名で充足している。
医療や介護の分野で活躍される人材である理学療法士の養成は、とても大切なことと思います。地域で育った人材が、その能力を地域で発揮できることが望ましい姿かと思ひます。
これからの社会では本当に必要になると思います。
当事業所として採用の予定はありませんが、法人としては採用予定もあり、有資格者の養成システムが整うことは良いことだと思います。
もう県内に理学療法学科はいらないと思います。これ以上は PT いらないと思います。
訪問のステーションでは法改正により 6 (看) : 4 (リハ) のしほりがある為、リハビリ職員の採用は厳しいです。施設や病院、訪問リハビリテーションなら今後新卒で採用が見込めるかもしれないですね。
理学療法学科の活躍の場は広がっているので大変期待しています。北陸では言語聴覚士の養成校が少ないのでそこも期待しています。
これからの高齢化社会又はこれを支える若い世代の長い人生に必要な医療専門職を育てていただきたい。我々が現在就いている現場のチームの一員として学んでいただきたいと願っています。
現在養成校は三陸 3 県において富山 2、石川 4、福井 2 校の状況としては経営可能かどうかの心配があります。より高い理学療法の専門性の追求については賛成致します。宜しくお願いします。
富山県は充足しているように感じます。
他養成施設にない特徴をもった理学療法士の養成をお願いしたい。

自由回答意見
要介護３以上の特養入所の方が、今以上、日常生活での動きが悪くならないように、生活の中でのリハビリのかかわり方を学んでいただく機会があればと思います。日常に寄り添い、生活を支えながらのかかわりが大切です。
今後の事業所の運営方針により、検討していきたいと思っております。
理学療法は飽和状態に思われ、理学、作業、言語の３学科か３コースにして合計 60 名の方がいいように思います。
御社には必要ないので特になしで申し訳ありません。
訪問看護事業になる為、卒後、在宅経験だけではという不安あり。臨床経験３年は欲しい所である。また、訪問分野では作業療法士を求めている。
PT は充足していると感じています。富山、石川には設置のない ST 学科が望ましい。嚥下に問題がある方が多いので。
特養でも理学療法士の必要性は感じておりますが、実際には導入となると難しい現状です。
リハビリスタッフはどこの病院、施設も不足している様子です。離職される方も多いと聞きました。やりがいや魅力のある職種である事、対人関係につまづいた時に乗り越えられる力を学生の間から学んで頂きたいと思えます。
高齢化が進み、当院の理学療法士もたくさんの患者様に対応し、大変活躍しております。期待しておりますので、募集の際には宜しくお願い致します。
石川県内 5 校目という事で新しい理学療法の展開が期待されます。例えば医療と地域、行政等の連携をはかり（地域包括支援センターなど）、学習が進むと理学療法士の社会からの Need が増えると思われます。
石川県で不足しているのは言語聴覚士の教育機関と思われる。
ぜひ応募頂きたいです。
今後共よろしく願います。
当院では、鍼灸師の採用を行っております。あまり参考にならず申し訳ございません。
学生が減少している中、これ以上、新規の学科は必要ないと思う。
娘が通学しております。応援しております。
機械的にリハビリを行う人材ではなく、人間的に尊重する心を持ち、相手の気持ちを汲み取り、本人が意欲を持ってリハビリに向きあえるようコミュニケーションと技術を活かせる理学療法士を育てて下さい。
期待しております。
実践で活躍できる人材を期待します。
医療機器販売（営業、開発、セミナー講師等）で当社では今後最優先求人です。
企業内理学療法士として臨床知識、経験のみならず、コミュニケーション能力やプレゼンスキルといった企業で活躍するための必要なスキルも同時に身につけられるような人材教育をお願い致します。

3 北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の採用者数について

北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の採用者数について、問7の採用意向に係る回答結果及び問8の採用者数に係る回答結果から算定したものが下の表である。

北陸大学医療保健学部理学療法学科卒業生の毎年の採用者数の算定

「採用したい」と回答した 35 機関・施設の 毎年の採用者数				「採用を検討したい」と回答した 125 機関・施設の 毎年の採用者数			
問8 選択肢	⇒ 採用者数 (A)	問8 回答件数 (B)	採用者数 計 (A×B)	問8 選択肢	⇒ 採用者数 (A)	問8 回答件数 (B)	採用者数 計 (A×B)
1人	⇒ 1人	12件	12人	1人	⇒ 1人	59件	59人
2人	⇒ 2人	7件	14人	2人	⇒ 2人	3件	6人
3人	⇒ 3人	6件	18人	3人	⇒ 3人	1件	3人
4～5人	⇒ 4人	2件	8人	4～5人	⇒ 4人	1件	4人
6～7人	⇒ 6人	0件	0人	6～7人	⇒ 6人	1件	6人
8人以上	⇒ 8人	1件	8人	8人以上	⇒ 8人	1件	8人
合 計		28件	60人	合 計		66件	86人

問8の採用者数について、「1人」との回答は1人の採用、「2人」については2人の採用、「3人」については3人の採用、「4～5人」については4人の採用、「6～7人」については6人の採用、「8人以上」については8人の採用とする。

問7の採用意向で「採用したい」と回答した35機関・施設のうち問8で採用者数を回答した28機関・施設について、問8の回答結果から毎年の採用者数を算定すると、合計で60人になる。北陸大学医療保健学部理学療法学科の入学定員は60人であることから、毎年、定員と同数の採用者数があることになる。

同様に、問7の採用意向において「採用を検討したい」と回答した125機関・施設のうち問8で採用者数を回答した66機関・施設について、問8の回答結果から毎年の採用者数を算定すると、合計で86人になる。「採用を検討したい」と回答した機関・施設については、現時点では採用があるかどうか不明確であるが、実際に採用する機関・施設はいくつか出てくる可能性は十分にあると考えられる。

また、問8で「その他」を選択した機関・施設の回答の具体的内容をみると、毎年ではないが採用したい、などの回答もあることから、北陸大学医療保健学部理学療法学科の入学定員60人を超える採用需要が毎年あると考えられる。

アンケート調査票

北陸大学「医療保健学部理学療法学科（仮称）」設置に関するアンケート調査

北陸大学では、2023（令和5）年4月の開設に向けて、「医療保健学部理学療法学科（仮称）」の設置準備を進めております。本学科では、理学療法士国家試験受験資格を取得できるカリキュラム編成を検討しております。つきましては、病院及び医療関係施設等の採用実績と採用意向等をお伺いしたく、ご協力をお願い申し上げます。なお、本調査は客観性を担保するため、大学等の各種調査に関して多くの実績を持つ一般財団法人日本開発構想研究所に集計・分析等を委託します。調査は無記名で行われ、結果は統計的に処理され調査目的以外に使用することはありません。

問1 貴機関・施設の所在地についてお答えください。

【回答欄】

次の中から該当する番号を1つ選択してください。

1. 石川県 2. 富山県 3. 福井県 4. その他（ ）

問2 貴機関・施設の主たる種別についてお答えください。

次の中から該当する番号を1つ選択してください。

1. 病院・診療所 2. 介護老人保健施設 3. 訪問看護ステーション
4. 通所・訪問リハビリテーション 5. 特別養護老人ホーム
6. その他（ ）

（貴機関・施設の理学療法士採用実績・充足状況・採用計画について）

問3 貴機関・施設における過去3ヵ年（2019、2020、2021 年度）の理学療法士の採用実績（既卒者含む）を年度別にご記入ください。

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
理学療法士採用者数	人	人	人
（ ）内は4年制大学卒業者で内数	（ ）人	（ ）人	（ ）人

注：採用実績がない場合は、「0」、不明の場合は、「不明」と回答欄にご記入願います。

問4 現在の貴機関・施設の理学療法士充足状況についてお聞きします。

次の中から該当する番号を1つ選択してください。

1. 大きく不足している 2. やや不足している 3. 充足している
4. その他（ ）

問5 貴機関・施設の2022年度の理学療法士採用計画（既卒者含む）を実数（予定人数）でご記入ください。

	2022 年度採用予定者数
理学療法士採用者数	人
（ ）内は、4年制大学卒業者数で内数	（ ）人

注：採用計画なしの場合は、「0」、未定の場合は、「未定」と回答欄にご記入願います。

【裏面に続く】

問6以降は、同封の「医療保健学部理学療法学科（仮称）」リーフレットをご覧ください。お答えください。

※リーフレットに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる場合があります。

問6 貴機関・施設では、北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）設置についてどのような考えをお持ちでしょうか。該当する番号を1つ選択してください。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. とても必要である | 2. 必要である |
| 3. どちらともいえない | 4. 不要である |

☐

問7 貴機関・施設では、北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）を卒業した理学療法士資格保有者の採用にどのような考えをお持ちですか。該当する番号を1つ選択してください。

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1. 採用したい | 2. 採用を検討したい |
| 3. 採用は考えない | 4. その他（ ） |

☐

問8 上記問7で1または2を選択された場合のみ、お答えください。

貴機関・施設では、北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）を卒業した理学療法士資格保有者を毎年何人程度採用したいという考えをお持ちですか。該当する番号を1つ選択してください。

- | | | | |
|---------|---------|--------------------------------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4～5人 |
| 5. 6～7人 | 6. 8人以上 | 7. その他（ ） | |

☐

問9 北陸大学医療保健学部理学療法学科（仮称）について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。